

守護神

SS-350

取付け・取扱い説明書 保証書

この度は、自動車用盗難警報装置 守護神 (SS-350) をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び、取扱い手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みの上、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠注意

本製品は、車体への衝撃や電圧変化を感知し警告を行う装置です。車上ねらい、車輛盗難等への防犯効果は多大ですが、防止機ではありません。また、なんらかの手段で盗難警報装置を解除し車輛に被害を与える場合も想定されます。本製品の作動の有無にかかわらず車輛盗難、車上ねらい、車輛へのイタズラ等が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

●ご使用上の注意	2	・電源の入れ方	23
●おもな特長	3	・待ち受け画面の説明	23
●各部の名称	4・5	・守護神のスタート/ストップ (ドアロック機能連動)	24
●取付/接続方法		・守護神のストップ	24
・取付・接続時の注意	6	・モードの設定	25
・配線概要図	7	・リモコン音の設定	25
○取付け手順		・リモコン表示の設定	26
1・ボディアース配線	8	・パニックアラーム機能	26
2・スピーカーユニット取付け/接続	8	・履歴表示	26
3・アクセサリ検出配線・BeTime信号配線	9	・圏内/圏外表示	27
4・ドアロック・アンロック配線	10・11	・ドアロック/アンロック	27
5・カーテシ配線	12	・エンジンスターターのスタート/ストップ	28
6・常時電源配線	13	●警報について	
7・アンテナ/振動センサーユニットの接続	13	・リモコンの警報	29
8・16Pハーネスの接続	13	・警報の種類と優先	29
9・振動センサーユニットの取付け	14	●リモコンの登録について	
10・メインユニットの取付け	14	・リモコンのID登録 (追加リモコンの登録)	30
11・アンテナユニットの取付け	14	●センサーの設定/調整	
●アンテナユニットの設定/使い方		・振動センサーの調整	31
・アンテナユニットの設定一覧	15	・電圧センサーの調整	32
・スピーカー警報音の設定	16	●その他の機能	
・スピーカー警報音の長さ設定	17	・オートドアロック機能	33
・車輛ホーン警告音の長さ設定	17	・省電力モード機能	33
・キャンセルタイマー設定	17	・フラッシャー/フラッシュライトの威嚇機能	33
・スタート/ストップ音の設定	18	・通信確認機能	34
・スタート/ストップ時のハザード機能設定	18	・守護神の強制スタート/ストップ	34
・警報時のハザード機能設定	18	●拡張コネクターについて	35
・センサーの設定	19	●付属のステッカーについて	35
・スピーカーの音量設定	19	●本製品の修理について	35
・フラッシャー表示の変更設定	19	●故障かな?と思ったら	36
●リモコンについて		●盗難保険について	37
・アンサーバックについて	20	●SS-350仕様	38
・リモコンご使用前に	20	●さくいん	39
・リモコン操作方法	20		
・リモコンの充電方法	21		
・リモコン操作一覧	22		

ご使用上の注意

ご使用前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。又、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為、誤った取り扱いをすると生じる恐れのある内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

警告

警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を被る可能性があります。

注意

注意を無視した取り扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

警告

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならず、車輛の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。又、エンジンルーム内への取付け・配線等も車輛の機構（ファン・ベルト等）や、熱の影響の無い場所へ取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車輛故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。
- 本製品をスタート（監視状態）したまま車を走行させないで下さい。誤作動の原因になり製品が故障する恐れがあります

注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、ヒューズ・両面テープ等の消耗品は、保証の対象になりません）
- 万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- 12V車のみ使用可能です。24V車には使用できませんのでご注意ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 指定の電池以外は使用しないでください。
- イグニッションキーを抜いた状態で、ステアリングのホーンボタンを操作し、ホーン（クラクション）が鳴らないお車は、ホーン警告機能が使用できません。
- 本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分ですと誤作動の原因となります。
- 本取付け・取扱い説明書内のイラストは、製品と一部異なる場合があります。
- 本製品を修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し（代替品）などのサービスは行っておりません。
- 本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車輛盗難、車上狙い、車輛へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。

●備考 「守護神」は、商標登録第2291392号の表示許諾契約を締結しています。

おもな特長

●ドットマトリックス液晶表示リモコン

液晶（2色）のドットマトリックス表示により多彩な文字（日本語・英語）やイラストの表示が可能になりリモコン操作、警報内容がわかりやすくなりました。

●4つから選べるセキュリティモード機能

環境によってスタンダード、シティ、ナイト、サイレントの4つからリモコン操作でセキュリティのスタートが可能（例：シティモード・・・振動系のセンサーをOFFにしてドアオープンのみ警報します。）

●パニックアラーム機能

車に不審者を確認した時、リモコン操作により電子音を鳴らす事ができます。

●特定省電力アンサーバックシステムリモコン

アンサーバック搭載システムリモコンがリアルタイムに表示&アラームでお知らせ。車から離れても特定省電力リモコンなので大丈夫。※電波到達距離 直線見通し2500M、市街地は最大で500M（当社計測値）

●ダブル充電方式+スピーカー&アンプ付き充電器

充電器無しでも付属ACアダプターから直接充電ができるダブル充電方式を採用。又、充電器で充電中に警報があった時リモコン警報と充電器からの大音量でスピーカーからお知らせします。

●多彩なリモコン機能

リモコン操作により圏内、圏外表示やリモコン音を消音、アラーム、メロディなどの操作が可能。

●リモコンの追加可能

SS-350のリモコンを全部で3個まで追加が可能。

●新開発！ダブル振動センサーでダブル警告

弱い衝撃と強い衝撃を別々にボリュームで調整できます。又、弱い衝撃と強い衝撃を識別して警報を鳴らします。

●電圧センサー搭載

ドアオープン（ルームランプ点灯）等の電圧変化に反応する新開発の電圧センサーで監視。
※一部車種で、電圧センサーが正常に作動しない場合があります。カーテシ配線を行ってください。

●高輝度LED+フラッシュライトによる監視機能&警告機能

本製品が車輦監視状態の時、8個の高輝度LEDが点滅（8パターン）し不審者を威嚇します。
又、センサーが感知すると高輝度LEDのフラッシュ点滅とフラッシュライト点滅で警告を行います。

●リモコンドアロック連動方式

SS-350のリモコンでドアロック・アンロックが行え、連動して守護神のスタート・ストップも行えます。
※一部車種で、取付けが行えない場合があります。

●BeTimeの操作が可能（BeTimeエンジンスターターが別途必要になります。現在の対応機種はBeTime A-73/75です。）

SS-350のリモコンをBeTimeに登録することによりエンジンスタート/ストップの操作ができます。

●日本語・英語・中国語・電子音での警告が行なえるスピーカー

スピーカーからの警告音を、日本語・英語・中国語・電子音の中から設定できます。又、音量の調整も可能です。

●盗難保険・1年間無償加入

本製品ご購入日から1年間有効の盗難保険に加入しています。（最高保証額¥100,000）
※保険対象品 ・タイヤ・ホイール・カーナビゲーションシステム・カーテレビ・カーオーディオ
・レーダー探知機・エンジンスターター・ETC本体

●履歴機能

停車中の車輦に異常が起きた時、警報の内容をリモコン（表示）で確認できます。

●エンジンスターター&ターボタイマー取付車対応

エンジンスターター&ターボタイマーの作動中は警告は行いません。

●省電力モード（バッテリー保護）

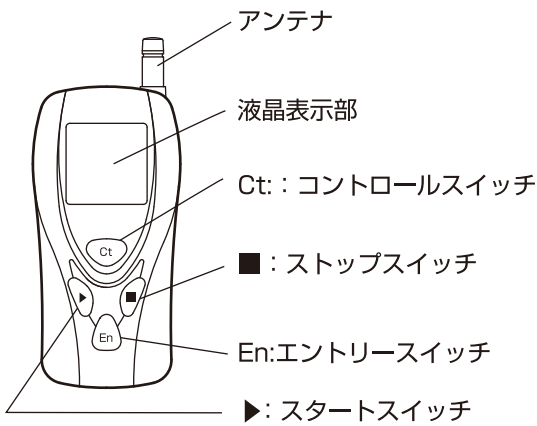
8日間以上連続して監視状態の場合、バッテリー保護の為、高輝度LEDが消費電力最小の点滅に変わります。

●豊富なオプションで、車にあわせてシステムアップが可能

各部の名称

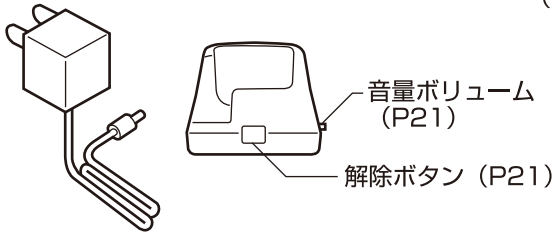
(セット内容)

※ () 内はセット数量

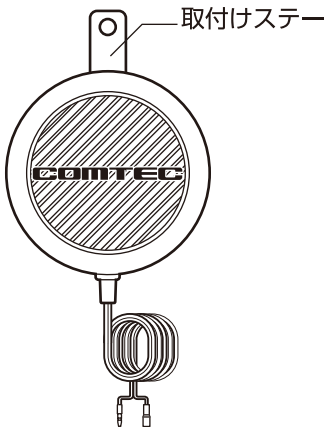


※リモコン操作一覧はP22

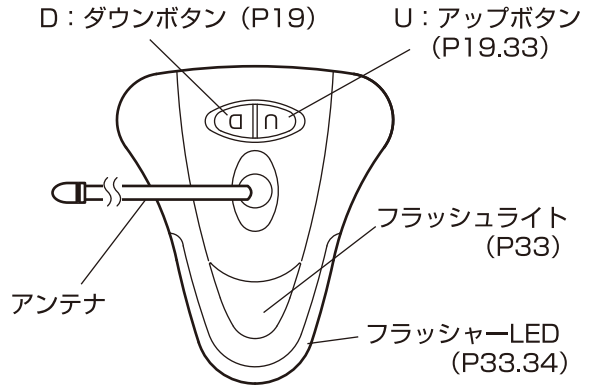
◆リモコン (1)



◆充電器 (1) 専用ACアダプター (1)

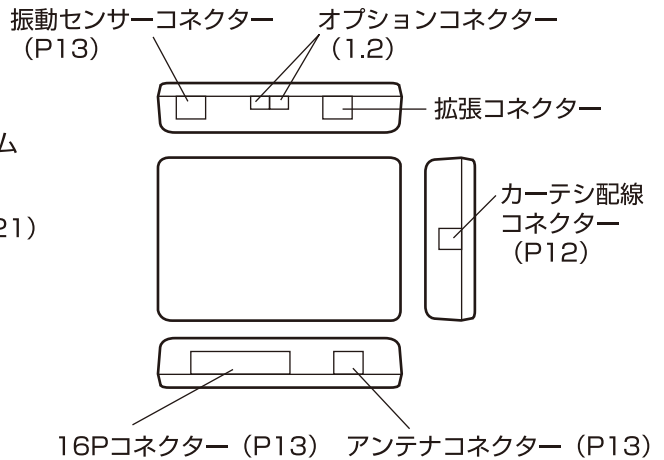


◆スピーカーユニット (1)

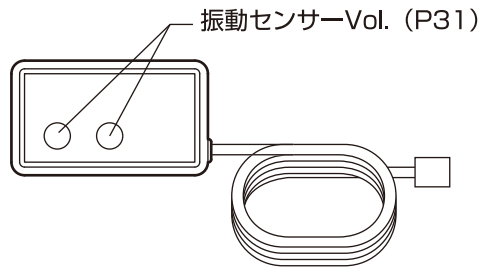


※アンテナユニットファンクション
スイッチ設定一覧はP15

◆アンテナユニット (1)



◆メインユニット (1)

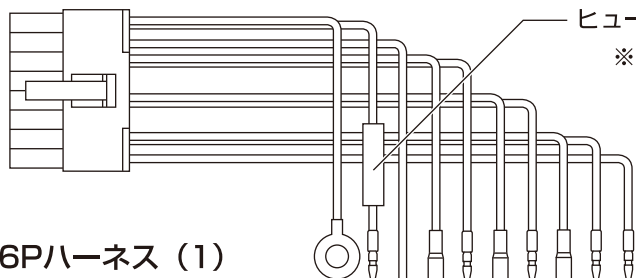


◆振動センサーユニット (1)

注：取扱説明書内イラストと実際の商品は一部形状が異なる場合があります。

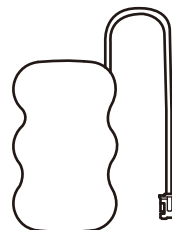
各部の名称

(セット内容)



※規定容量以上の電流が入力されると回路保護の為ヒューズが切れます。その場合、同容量のヒューズと交換してください。

◆16Pハーネス (1)



◆リモコン用充電地 (1)



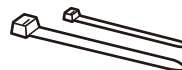
◆アンテナ接続ケーブル (1)



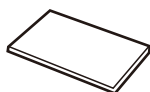
◆盗難保険事故報告書 (1)



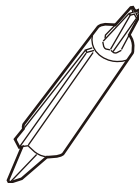
◆コードクランプ (3)



◆インシュロック (大×3 小×5)



◆両面テープ (3)



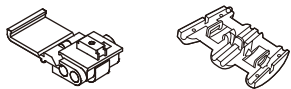
◆調整用ドライバー (1)



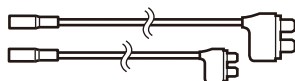
◆ファスナーテープセット (1)



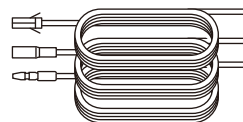
◆インシュロックベース (2)



◆エレクトロタップ (赤×6 青×1)

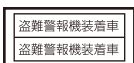


◆平型ヒューズ付きコード (大×1 小×1)



◆延長線

- ・ドアポジション延長線 (桃×1)
- ・ドアロック延長線 (緑×1)
- ・ドアアンロック延長線 (紫×1)
- ・カーテシ入力延長線 (黄×1)



◆ステッカー (1シート)

※車輛の窓ガラス等に貼ってください。

取付け/接続方法

◆取付け・接続時の注意

- 取付の時は必ずシフトレバーをパーキング P にし、パーキングブレーキを確実にかけ、エンジンを停止させ、キーを抜きます。

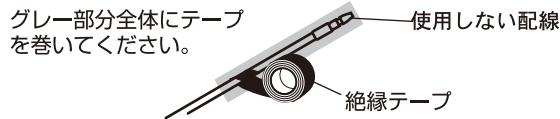


●配線について

- ※配線等を取納する際、車の金属部（ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄等）にコード類が接触する場合は、その部分に必ず絶縁テープ等を貼って保護してください



- ※使用しない配線は絶縁テープを巻き他の配線や車輛ボディーアースに接触しないようにします。

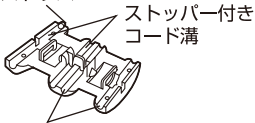
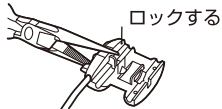
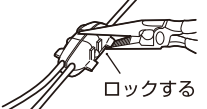
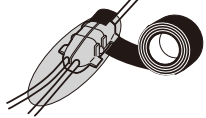
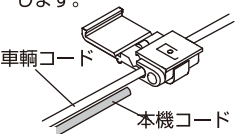
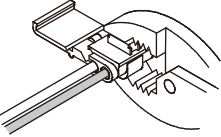
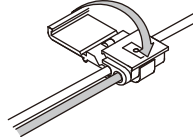
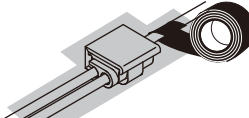


●取付けに必要な工具

- ・サーキットテスター ・ドライバー ・カッターナイフ ・プライヤー ・絶縁テープ
- ・スパナ又はボックスレンチ ※その他の工具が必要になる場合があります。

●エレクトロタップの使用方法

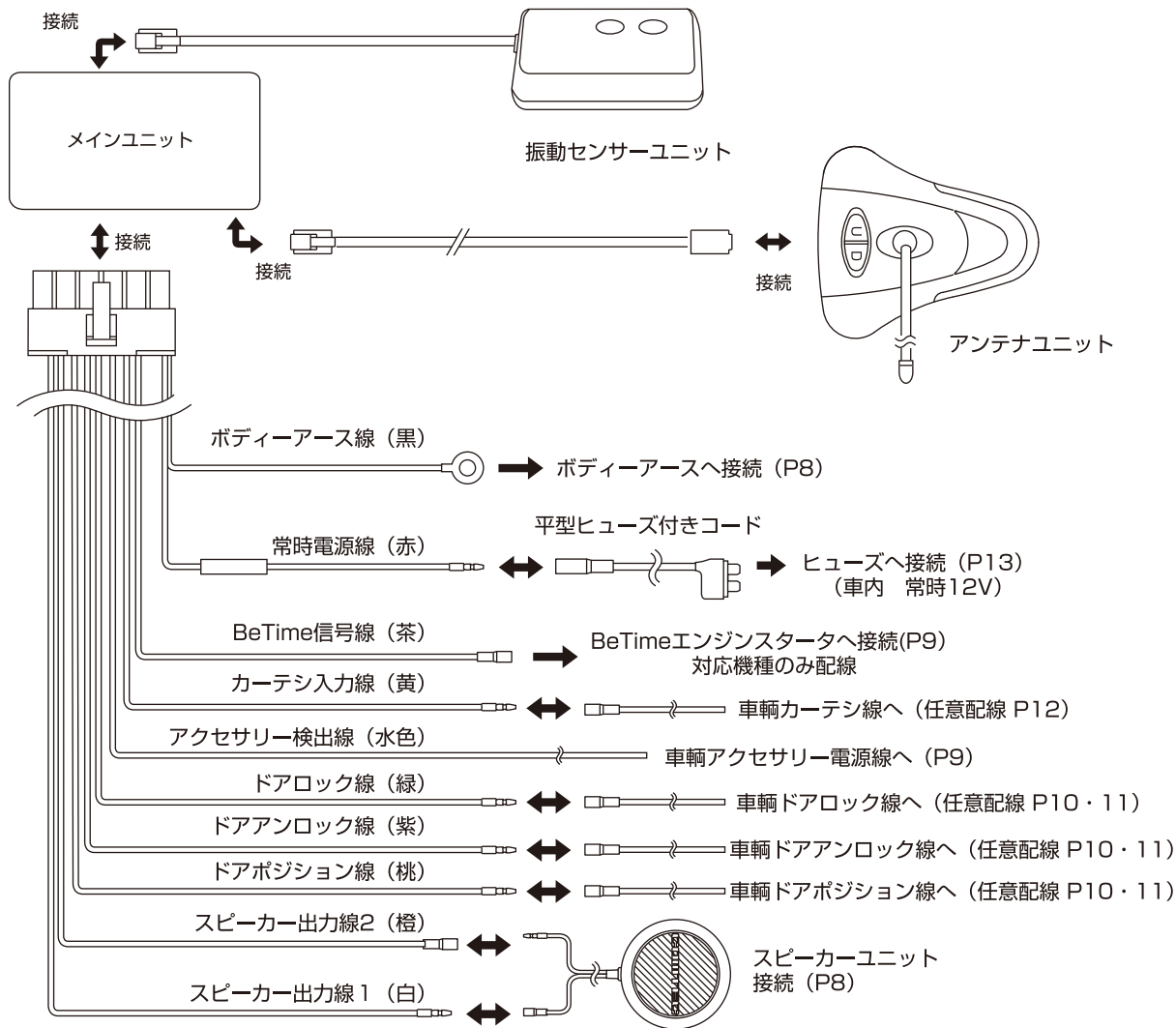
- 注意 エレクトロタップで接続後、安全の為に必ず絶縁テープを巻いてください。青タップ、赤タップの使用方法が異なります。

<p>青タップの使用方法</p> <p>1. タップを図のように見ます。 ストッパー</p>  <p>ストッパー付きコード溝</p> <p>ストッパー無しコード溝</p>	<p>2. ストッパー付きコード溝に本機のコードを挟みプライヤー等でロックします。</p>  <p>ロックする</p>	<p>3. ストッパー無しコード溝に車側のコードを挟みプライヤー等でロックします。</p>  <p>ロックする</p>	<p>4. 絶縁テープを巻きます。</p>  <p>グレー部分全体にテープを巻いてください。</p>
<p>赤タップの使用方法</p> <p>1. コードを差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。</p>  <p>車輛コード</p> <p>本機コード</p>	<p>2. プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。</p> 	<p>3. カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。</p> 	<p>4. 絶縁テープを巻きます。</p>  <p>グレー部分全体にテープを巻いてください。</p>

取付け/接続方法

◆配線概要図

※オプション配線の記載もしてあります。



◆16Pコネクターの内容

16Pコネクター

16	14	12	10	8	6	4	2
15	13	11	9	7	5	3	1

1	ボディアース (黒)	2	常時電源 (赤)
3	ドアポジション (桃)	4	ジャッキアップセンサー (OP)
5	ホーン出力 (OP)	6	カーテシ入力線 (黄)
7	アンサーフラッシュ (OP)	8	ドアアンロック線 (紫)
9	BeTime信号線 (茶)	10	ドアロック線 (緑)
11		12	
13	スピーカー出力 (白)	14	スピーカー出力 (橙)
15	アクセサリ検出線 (水色)	16	

◆オプションの接続箇所

●SS-057ホーンリレー (オプション)



16Pハーネスの5番に付属線を入れます。(設定はP17)

●Be-968アンサーフラッシュリレー (オプション)



16Pハーネスの7番に付属線を入れます。(設定はP18)

●SS-056ジャッキアップセンサー (オプション)

SS-056から出ている出力線を16Pハーネスの4番に差し込んで下さい。

●SS-059カーテシ配線2 (複数線)

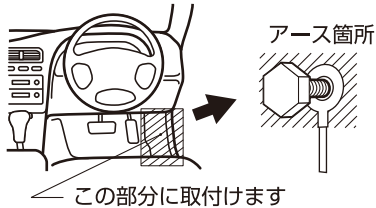
メインユニットの”カーテシ配線コネクター”に4Pケーブルを差し込んで下さい。

※車輻側の配線については各オプションの取扱説明書を参照してください。

取付け/接続方法

◆取付け手順 1 ボディアース配線

16Pハーネス・アース線（黒）を、塗装されていないボディまたはフレームのビス等へ確実に共締めします。



⚠ 注意

- ・バッテリー電圧と同等の電圧があるか確認してください。
- ・アース端子とフレームの間に樹脂、塗装等があると、確実なアースがとれません。
- ・不適切な場所へアース端子を取付けると、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

◆取付け手順 2 スピーカーユニット取付け/接続

スピーカーユニットはエンジンルーム／室内のどちらにも取付ける事ができます。

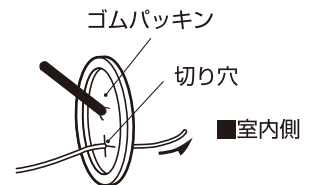
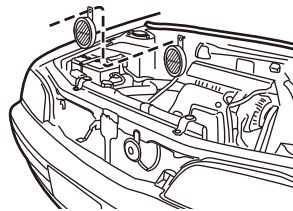
⚠ 注意

- ・スピーカーユニットの取付、配線を行う際、車輛の機構部（ファン・ファンベルト・アクセルペダル・ブレーキペダル等）や高温となる場所（エンジン・ラジエター・エアコン吹き出し口付近等）への配線は避けてください。

1.スピーカーユニットの取付け（エンジンルーム）

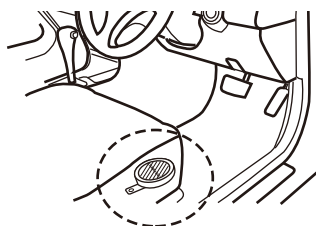
- ・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、雨等の水が直接当たらない箇所へ確実に取付けます。
- ・車輛のネジ等を利用して確実に取付けてください。
- ・エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキン等に、カッターナイフ等で切り穴を開けスピーカーユニットの配線を室内側へ配線してください。
- ・スピーカーユニットを車輛の外から見えやすい所に配線すると配線を切断され警報機能がなくなりますので注意して下さい。

（取付け例）エンジンルーム内



2.スピーカーユニットの取付け（室内）

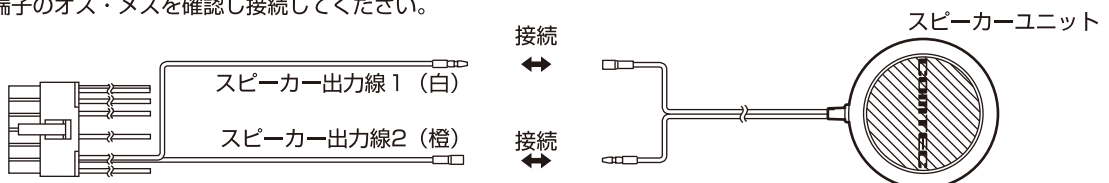
- ・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、運転に支障の無い箇所へ確実に取付けます。
 - ・車輛のネジ等を利用して確実に取付けてください。
- ※気密性、防音性の高い車輛の場合、室内に取付けると警告音が聞こえにくくなる場合があります。



（取付け例）運転席下部

3.スピーカーユニットの接続

- ・16Pハーネス・スピーカー出力線1（白）・スピーカー出力線2（橙）をそれぞれスピーカーユニットと接続します。
- ※各端子のオス・メスを確認し接続してください。



取付け/接続方法

◆取付け手順 3 アクセサリー検出配線・BeTime信号配線

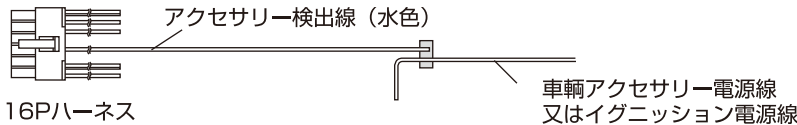
●お取付けの車種によって下記 a, b の2通りの配線方法があります。

- ・本製品作動中にリモコンを紛失・破損した時等、車輛のイグニッションキーをACCの位置にすると警報のみ（警報中でも）停止します。※イグニッションキーをOFFにすると本製品がキャンセルタイマー作動後スタートします。
- ・注、イグニッションキーをACCの位置にするまでは、車輛のドアを開けたり、車輛に振動を加えると警報が鳴ります。
- ・エンジンスタート/ターボタイマーお取付けの車輛はエンジンスタート/ターボタイマー作動中本製品が作動中でも警報のみ停止します。
- ・※エンジンスタート/ターボタイマー停止後、本製品のキャンセルタイマー作動しセキュリティがスタートします。

a

- ・エンジンスタート/ターボタイマーを取付けていない車輛の場合。
- ・エンジンスタート「Be Timeシリーズ」で盗難警報機接続線（茶色）の無い機種を取付けている場合。
- ・他社メーカーのエンジンスタート/ターボタイマーを取付けている場合。

- ・16Pハーネス・アクセサリー検出線（水色）を車輛のアクセサリー電源線にエレクトロタップで接続します。



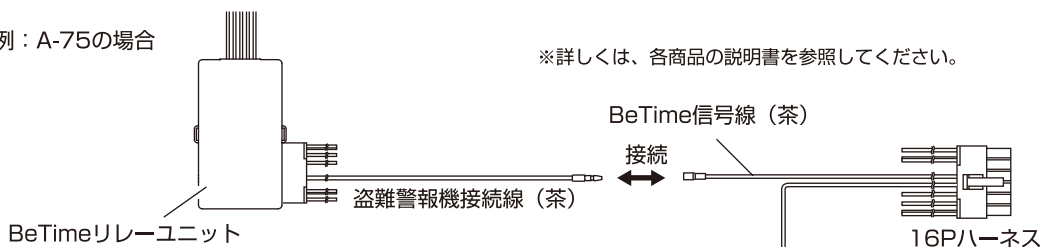
- ・他社メーカーのエンジンスタート/ターボタイマーでアクセサリーを制御しない物があります。その場合は車輛側イグニッション電源線に配線をしてください。
- ・アクセサリー電源がない車輛はイグニッション電源線に配線してください。
- ・イグニッションキーをOFFにしてもアクセサリー電源線に電圧が残る車輛があります。その場合は車輛側イグニッション電源線に配線をしてください。

b

- ・弊社製品のエンジンスタート/ターボタイマー「Be Timeシリーズ」で盗難警報機接続線（茶）のある機種を取付けている場合。

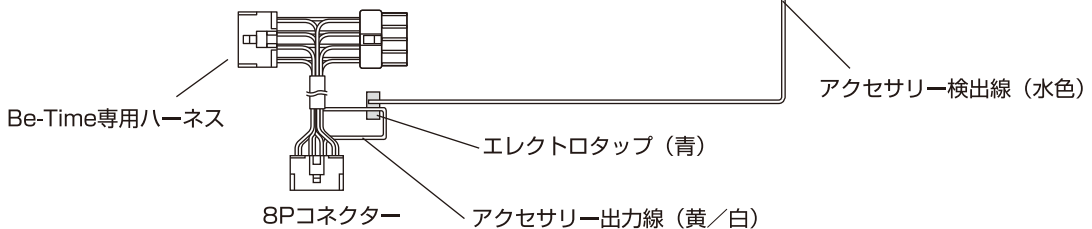
- ・本体リレーボックスから出ている盗難警報機接続線（茶）に守護神16PハーネスのBeTime信号線（茶）を接続します。

※例：A-75の場合



※詳しくは、各商品の説明書を参照してください。

- ・守護神16Pハーネスのアクセサリー検出線（水色）と、Be Time専用ハーネスの黄/白線をエレクトロタップで接続します。



※イグニッションキーをOFFにしてもアクセサリー電源線に電圧が残る車輛があります。その場合はBe Time専用ハーネスの緑/白線に接続します。

取付け/接続方法

◆取付け手順 4) ドアロック・アンロック配線 (任意配線)

●本製品のリモコンにて車輛のドアロック/ドアアンロックと連動して守護神のスタート/ストップを行います。

(注) 下記の様な車種はドアロック・アンロック制御を行えません。

- ・車種別専用ハーネス適合表で適合していない車種
- ・集中ドアロック制御できない車種
- ・弊社以外のセキュリティシステム装備車
- ・ディーラーオプションのキーレス搭載車種
- ・キーフリーシステム (インテリジェントキー/スマートキー含む) 装備車

●配線の前に

- ・自動車メーカー、車種によってドアロック・アンロック配線の方法が異なります。また、本製品以外に別売のBeTime/守護神共通ワイヤレスドアロックアダプターBe-965を必要とする車種があります。
- ・守護神を取付ける前に当社エンジンスターターBeTime側でドアロック・アンロック配線がしてある場合はドアロック・アンロック配線を外し守護神側に配線をして下さい。

Aタイプ……本製品だけで配線が可能。

適応車種……電気式集中ドアロックスイッチ (全席のドアロック・アンロック可能なもの) 装備車で、通常時12v・ドアロック/アンロック時0vになり動作後12vに戻るタイプ。*車輛によっては通常時の電圧が12Vない場合があります。

Bタイプ……本製品以外に別売のBeTime/守護神共通ワイヤレスドアロックアダプターBe-965が必要。

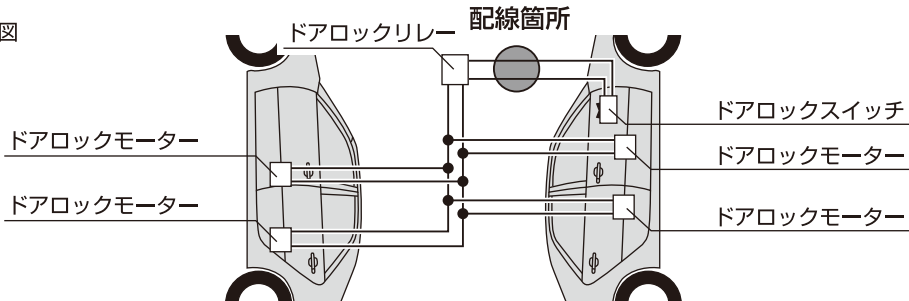
*配線方法はBeTime/守護神共通ワイヤレスドアロックアダプターを参照してください。

適応車種……ドアロック専用スイッチで全てのドアロックを制御 (ロック/アンロック) でき、通常時0v・ドアロック/アンロック時12vになり、動作後0vに戻るタイプ。(アンロック時、又はロック時のみ12vから0vになる車輛も含まれます)

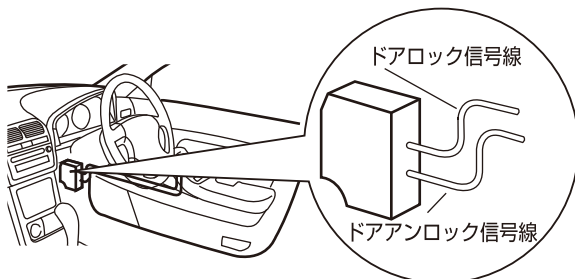
*詳しくは車種別専用ハーネス適合表を参照してください。

Aタイプの配線方法

1. 配線概要図



2. 車輛ドアロック・ドアアンロック線を探します。ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックスイッチまわりから探し出します。



*場所は車種によって異なります。

ドアロック線(通常12v)

ドアロック動作時→0v
動作後→12v

ドアアンロック線(通常12v)

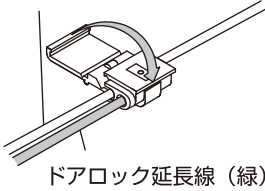
ドアアンロック動作時→0v
動作後→12v

*電圧は車種によって違います。

取付け/接続方法

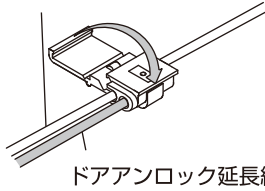
3. ドアロック（緑）・ドアアンロック延長線（紫）を項目 2. で探したドアロック線・ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップ（赤）で接続します。

車輻ドアロック線



ドアロック延長線（緑）

車輻ドアアンロック線



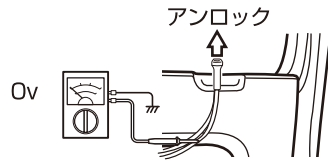
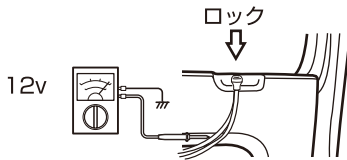
ドアアンロック延長線（紫）

※確認（必ず行ってください）

エレクトロタップで接続後、延長線をボディアースに接触させ、ドアロック、ドアアンロックが作動するか確認します。

4. 項目 3. の確認でドアアンロックが作動しない場合、ドアポジション信号が必要となります。（一部車種のみ）ドアアンロックが作動する場合は、項目 6. へ進んでください。

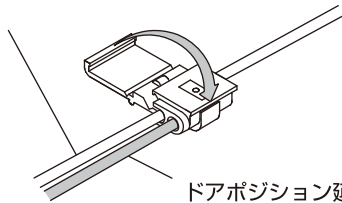
※項目3で正常に作動する場合は配線の必要はありません。



ドアロックノブを操作してロック時に12v、アンロック時に0vになる線を探します。

5. 項目 4. で探したドアポジション信号線にドアポジション延長線（桃）をエレクトロタップ（赤）で接続します。

車輻ドアポジション信号線



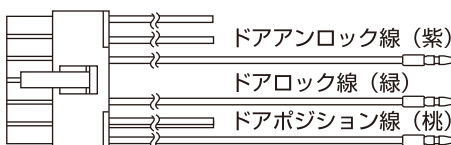
ドアポジション延長線（桃）

※確認（必ず行ってください）

エレクトロタップで接続後、ドアポジション延長線、ドアアンロック延長線をボディアースに接触させ、ドアアンロックが作動するか確認します。

6. 16Pハーネス・ドアロック線（緑）、ドアアンロック線（紫）をそれぞれの延長線と接続します。
※ドアポジション延長線を接続している場合は、同様に16Pハーネスと接続します。

16Pハーネス



ドアアンロック線（紫）

ドアロック線（緑）

ドアポジション線（桃）

ドアアンロック延長線（紫）

ドアロック延長線（緑）

ドアポジション延長線（桃）

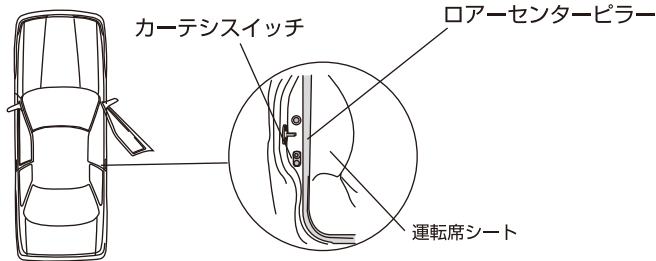
取付け/接続方法

◆取付け手順 **5** カーテシ配線 (任意配線)

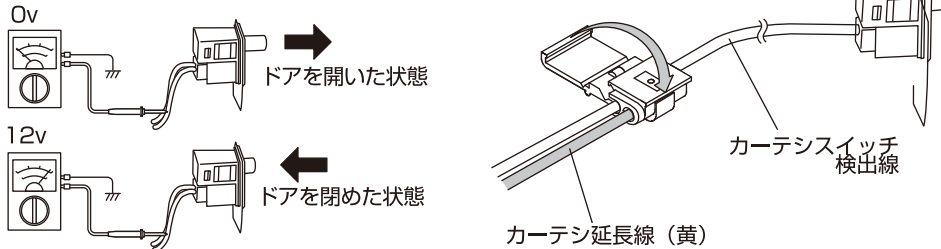
※カーテシ配線とは・・・

- 車のドアが開いたのを確認するスイッチが車側についていて、これをカーテシスイッチ (メーカーによって呼び名が違う場合があります) と言い、このスイッチに配線することにより車のドアが開いたのを確認します。
- ※本製品を取付けて、電圧センサーによる警報が出力されない (ドアオープン時に警報されない) 場合に配線を行ってください。
- ・付属のカーテシ延長線は、カーテシ配線を1箇所で行われる車種専用になります。複数のドアに対してそれぞれ独立したカーテシ配線を行う必要のある車種は別売のカーテシ配線2 (複数線) 「SS-059」をご使用ください。
- ・一部車種でカーテシ配線ができない車両があります。(多重通信車など)
- ・カーテシスイッチ以外にも配線ができる車両もあります。(キー照明、半ドア警告灯など)

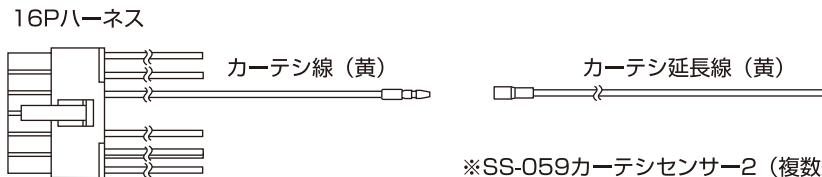
1. 運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。



2. 車輻側カーテシ検出線をテスター等で探し、カーテシ入力延長線 (黄) と車輻側カーテシ検出線をエレクトロタップ (赤) で接続します

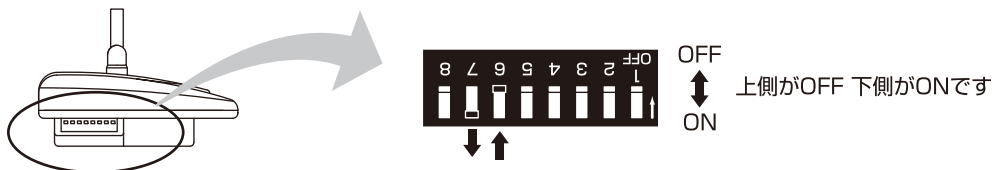


3. 16Pハーネス・カーテシ入力線 (黄) を延長線と接続します。



※SS-059カーテシセンサー2 (複数線) を取付けの場合はメインユニットの専用のカーテシ配線コネクタに接続してください。

4. アンテナユニットのファンクションスイッチのB-7をONにし、B-6をOFFにします。
※カーテシ配線を行っていない時は、アンテナユニットのファンクションスイッチのB-7をOFFにします。

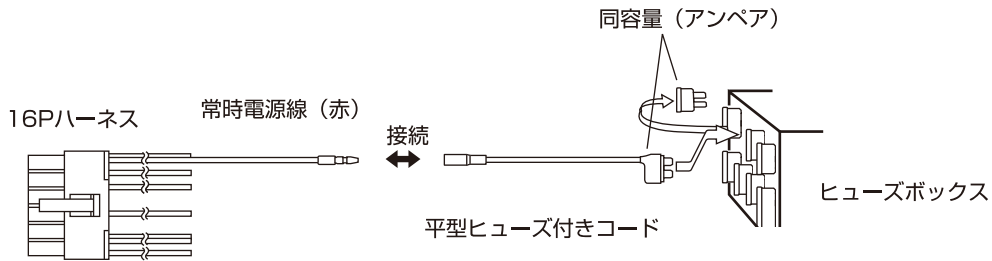


取付け/接続方法

◆取付け手順 6 常時電源配線

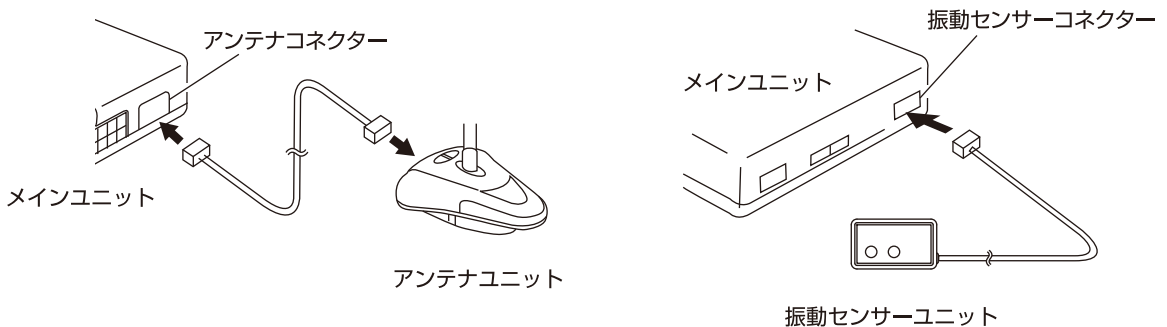
●付属の平型ヒューズ付きコードは、大小の2種類あります。車輛のヒューズサイズに合わせてご使用ください。

- ・16Pハーネス・常時電源線（赤）に平型ヒューズ付きコードを接続し、車輛の常時電源がとれるヒューズと差し換えます。
- ※・必ず同じ容量（アンペア）のヒューズと差し換えてください。
- ・車輛に同じ容量（アンペア）のヒューズが無い場合は、市販されている同じ容量のヒューズ付きコード等をご使用ください。



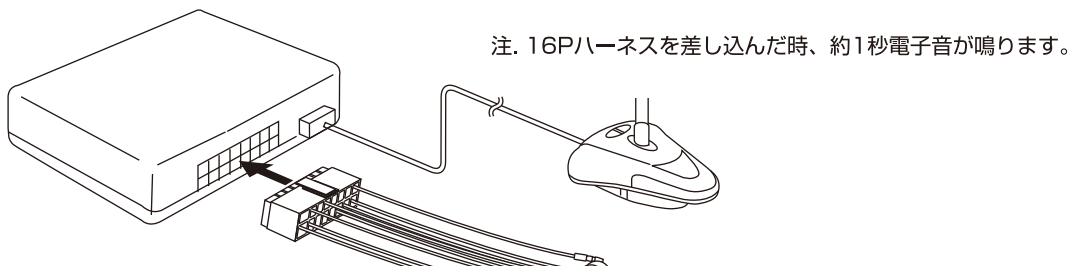
◆取付け手順 7 アンテナ/振動センサーユニットの接続

- ・メインユニットのアンテナコネクターにアンテナ接続ケーブルを接続し、アンテナユニットに接続ケーブルの反対側を接続します。
- ・振動センサーユニットをメインユニットの振動センサーコネクターに接続します。



◆取付け手順 8 16Pハーネスの接続

- ・メインユニットの16Pコネクターへ16Pハーネスを接続します。
- ・16Pハーネスを接続するとアンテナユニットのLEDが点滅し、スピーカーユニットから約1秒間電子音が鳴ります。
- ※アンテナユニットのLED点滅、スピーカーユニットの警報が行われない場合は、再度接続を確認してください。



取付け/接続方法

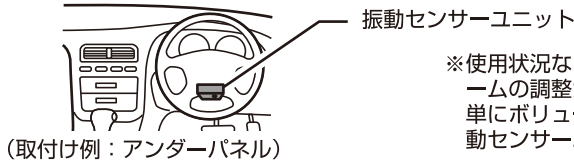
◆取付け手順 9 振動センサーユニットの取付け

・振動センサーユニット内に振動センサーが内蔵されています。車輛への衝撃を平均的に検出するため、必ず車内の振動が伝わる固定されている場所へ確実に取付けてください。

・両面テープを適当なサイズにカットし、振動センサーユニットを樹脂、金属等の面へ水平になるように固定します。

注意 ⚠

- ・中性洗剤で取付け面を拭き、油分を取り除いてから貼り付けてください。
- ・振動センサーVol.が手もと側（操作できる側）になるよう取付けてください。
- ・取付け、配線等はエアバック等車輛の機構部に影響がなく、運転の妨げにならない位置へ取付けてください。
- ・カーペット等の柔らかい面に取付しないでください。



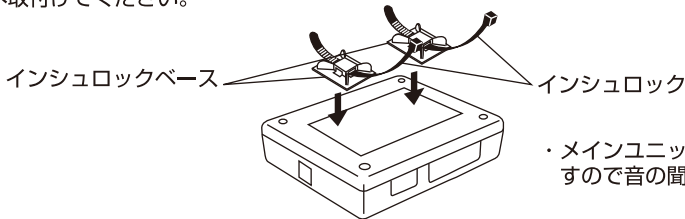
※使用状況などにより振動センサーユニットのボリュームの調整が必要になる場合がありますので必ず簡単にボリュームが調整できるように見える場所に振動センサーユニットを取り付けてください。

◆取付け手順 10 メインユニットの取付け

・メインユニットに付属のインシュロックベースを貼り、インシュロックを使用して車内の目立たない位置へ取付けます。

注意 ⚠

- ・中性洗剤で取付け面を拭き、油分を取り除いてから貼り付けてください。
- ・取付け、配線は車輛の機構部（アクセルペダル、ブレーキペダル等）に影響がなく、運転の妨げにならない位置へ取付けてください。



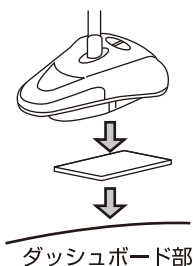
◆取付け手順 11 アンテナユニットの取付け

・アンテナユニットの設置、固定は付属の両面テープ又はファスナーテープを使用して、車輛のダッシュボード上にLED部が外から見える様に取付けます。

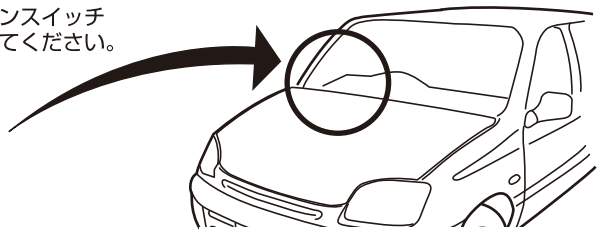
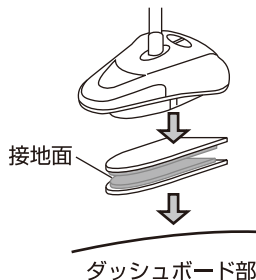
注意！ 運転や視界の妨げにならず、車輛の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。アンテナユニットファンクションスイッチで設定ができるように取付けてください

・アンテナユニットの取付け位置によりファンクションスイッチの設定ができない場合はファスナーテープで固定してください。

両面テープで固定



ファスナーテープで固定



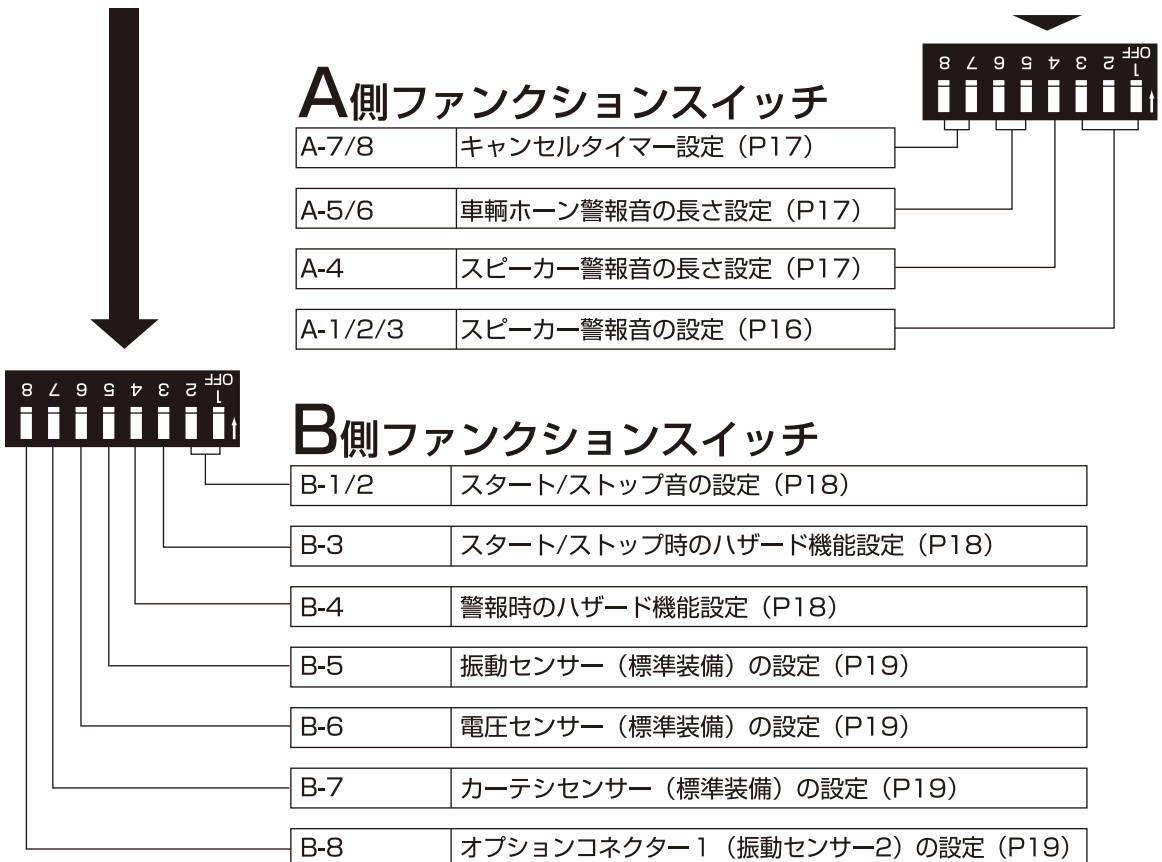
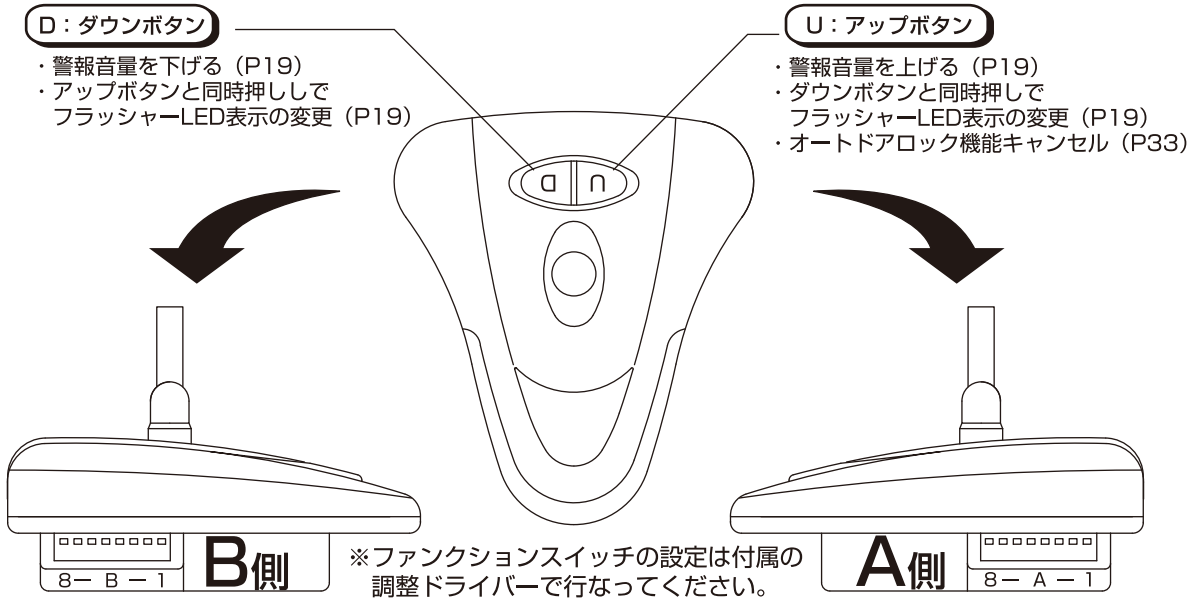
※両面テープを使用する場合はアンテナユニットに合せて余分な部分を切って下さい。ファスナーテープを使用する場合はアンテナユニット側とダッシュボード側の接地面を合せた後、軽くアンテナユニットを左右に動かすことによりアンテナユニットが固定されます。

アンテナユニットの設定/使い方

◆アンテナユニットスイッチの設定一覧

●アンテナユニットの設定の前に

全てのファンクションスイッチの設定はSS-350停止状態（ストップ）で行なってください。
リモコンでスタート（監視状態に）した時にファンクションスイッチの設定が有効になります。

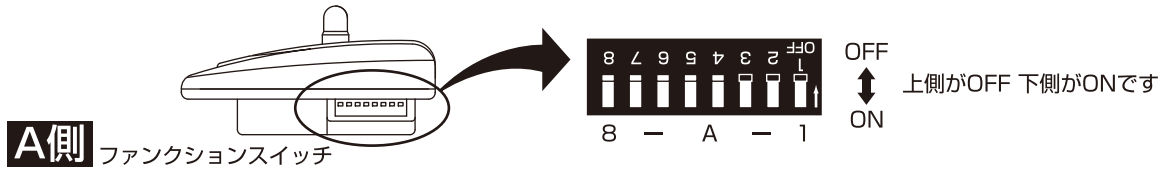


アンテナユニットの設定/使い方

◆スピーカー警報音の設定

※各センサーの種類についてはP29を参照してください。

●アンテナユニットのA側ファンクションスイッチの設定によってスピーカーの警報音を8通りに設定できます



警報音の種類	ファンクションスイッチの設定	警報音の鳴り方	
スピーカー音無し	A-1・・・OFF A-2・・・OFF A-3・・・OFF	スピーカー警報音を鳴らしません	
電子音	A-1・・・ON A-2・・・OFF A-3・・・OFF	振動センサー（弱い振動） 拡張振動センサー 2 含む	電子音 約1秒
		振動センサー（強い振動） 拡張振動センサー 2 含む	電子音 約5秒
		電圧センサー	電子音 約30秒
		オプションセンサー ※オプションにより異なります	電子音 約30秒
		カーテシセンサー	電子音 約30秒
日本語A	A-1・・・OFF A-2・・・ON A-3・・・OFF	振動センサー（弱い振動） 拡張振動センサー 2 含む	注意してください
		振動センサー（強い振動） 拡張振動センサー 2 含む	注意してくださいセキュリティシステムが作動しています
		電圧センサー	電圧異常を検出しました+電子音30秒
		オプションセンサー ※オプションにより異なります	車両異常を検出しました+電子音30秒
		カーテシセンサー	ドアオープン検出しました直ちに車から離れてください +電子音30秒
日本語B	A-1・・・OFF A-2・・・OFF A-3・・・ON	振動センサー（弱い振動） 拡張振動センサー 2 含む	車両衝撃検出
		振動センサー（強い振動） 拡張振動センサー 2 含む	車両衝撃検出管理者へ通報します
		電圧センサー	電圧異常検出管理者へ通報します+電子音30秒
		オプションセンサー ※オプションにより異なります	車両異常検出管理者へ通報します+電子音30秒
		カーテシセンサー	ドアオープン検出しました管理者へ通報します +電子音30秒
英語C	A-1・・・ON A-2・・・ON A-3・・・OFF	日本語Aを英語で警報します	
英語D	A-1・・・ON A-2・・・OFF A-3・・・ON	日本語Bを英語で警報します	
中国語E	A-1・・・OFF A-2・・・ON A-3・・・ON	日本語Aを中国語で警報します	
中国語F	A-1・・・ON A-2・・・ON A-3・・・ON	日本語Bを中国語で警報します	

※警報中でもイグニッションキーをACC又はONの位置にすると警報は鳴らなくなります。アンテナユニットのLED表示は設定した監視状態になります。

・オプションの警報は各オプションにより警報音、警報時間が異なります。

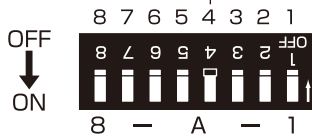
アンテナユニットの設定/使い方

◆スピーカー警報音の長さ設定

●アンテナユニットのA側ファンクションスイッチの設定によってスピーカー警報音の長さを設定できます。

A側

ファンクションスイッチ



ファンクションスイッチ		作動内容
A-4		
OFF		警報音を標準の長さ（P16）警報します。
ON		警報音を標準の長さ（P16）を2回警報します

※車輻ホーン警告音の長さは変更しません。

◆車輻ホーン警告音の長さ設定

※オプションSS-057が必要になります。

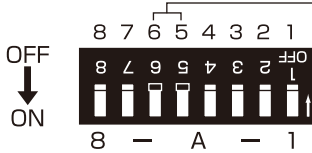
●アンテナユニットのA側ファンクションスイッチの設定によって車輻ホーン警告音の長さを設定できます。

○ホーン警報は以下のセンサーで警報します。

・電圧センサー ・カーテシセンサー

A側

ファンクションスイッチ



ファンクションスイッチ		作動内容
A-5	A-6	
OFF	OFF	ホーン警報OFF
ON	OFF	15秒間に5回警報を鳴らします
OFF	ON	30秒間に10回警報を鳴らします
ON	ON	60秒間に20回警報を鳴らします

※オプションによって電圧/カーテシセンサー以外に車輻ホーン警報が鳴る場合があります。

・モード設定（P25）でサイレント/ナイトモードに設定した場合は車輻ホーン警報は行ないません。

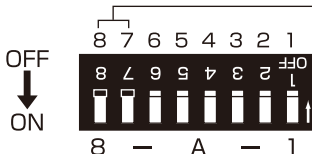
◆キャンセルタイマー設定

●アンテナユニットのA側ファンクションスイッチの設定によってキャンセルタイマーを設定できます。

○キャンセルタイマーを使用すると・・・エンジン停止後、車輻の電装品が動作していても守護神をスタート後、設定時間以内であれば警報を行いません。

A側

ファンクションスイッチ



ファンクションスイッチ		作動内容
A-7	A-8	
OFF	OFF	機能OFF（0秒）
ON	OFF	20秒
OFF	ON	40秒
ON	ON	60秒

※キャンセルタイマー作動中はフラッシャーLEDは全て点滅します。

※本製品作動中にスターターなどでアクセサリ又はイグニッションが一度ONになりその後アクセサリがOFFになるとキャンセルタイマーの設定がOFFでも20秒のキャンセルタイマーが作動します。（アクセサリ検出配線P9を配線時）

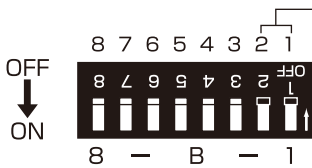
アンテナユニットの設定/使い方

◆スタート/ストップ音の設定

※ドアロック/アンロック時の設定も含まれます。

- アンテナユニットのB側ファンクションスイッチの設定によってスタート/ストップ音の設定できます。

B側 ファンクションスイッチ



ファンクションスイッチ		作動内容
B-1	B-2	
OFF	OFF	音のお知らせOFF
ON	OFF	電子音にてお知らせ
OFF	ON	日本語にてお知らせ
ON	ON	英語にてお知らせ

※モード設定により日本語、英語の内容がかわります。

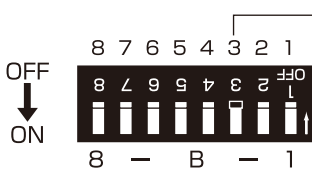
例.スタンダードモードで日本語設定した場合・・・”スタンダードモードスタート”とスピーカーから鳴ります。

◆スタート/ストップ時のハザード機能設定

※オプション Be-968アンサーフラッシュリレーが必要になります。

- アンテナユニットのB側ファンクションスイッチの設定によってスタート/ストップ時のハザード機能を設定できます。

B側 ファンクションスイッチ



ファンクションスイッチ		作動内容
B-3		
OFF		使用しない
ON		使用する スタート/ロック時 1回点滅します ストップ/ドアアンロック時 2回点滅します

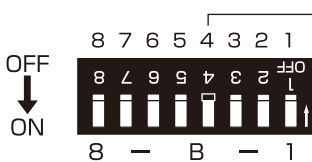
※アンサーフラッシュリレーBe-968を車輛のハザードに配線した時にハザードが点滅するようになります。

◆警報時のハザード機能設定

※オプション Be-968アンサーフラッシュリレーが必要になります。

- アンテナユニットのB側ファンクションスイッチの設定によって警報中のハザード機能を設定できます。

B側 ファンクションスイッチ



ファンクションスイッチ		作動内容
B-4		
OFF		使用しない
ON		使用する 全ての警報中2秒おきに点滅させます

- ※・警報音をOFF設定 (P16・17) 又はサイレントモード (P25) にした場合は設定をONにしてもハザードは1回のみ点滅します。
- ・2秒以内の短い警報設定でも警報したら1回はハザードが点滅します。
- ・アンサーフラッシュリレーBe-968を車輛のハザードに配線した時のみにハザードが点滅するようになります。

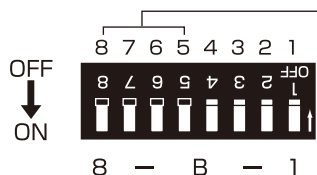
アンテナユニットの設定/使い方

◆センサーの設定

●アンテナユニットのB側ファンクションスイッチの設定によって各センサー（オプション）のON/FF設定できます。

B側 ファンクションスイッチ

※ファンクションスイッチ ON・・・センサーを使用する
OFF・・・センサーを使用しない



ファンクションスイッチ	作動内容
B-5	振動センサー（標準装備）
B-6	電圧センサー（標準装備）
B-7	カーテンセンサー（標準装備）※配線時
B-8	オプションコネクター1（拡張振動センサー2）

※リモコンによるモード設定（P25）でセンサーをONしてもアンテナユニットセンサー設定が優先されます。

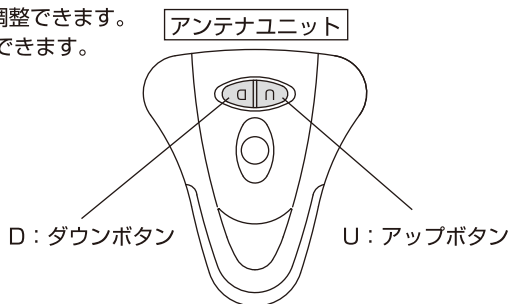
◆スピーカーの音量設定

※SS-350の停止状態で音量設定をおこなってください。

●スピーカー音の音量を6段階までアンテナユニットのスイッチで調整できます。押すたびにスピーカーから設定音が鳴りますので直接音量を確認できます。

- ・アップボタンを押すたびにスピーカーから電子音が1回鳴り音量が上がります。一番上まで上がると電子音が2回鳴り音量が上がらなくなります。
- ・ダウンボタンを押すたびにスピーカーから電子音が1回鳴り音量が下がります。一番下まで下がると電子音が2回鳴り音量が下がらなくなります。

※音量を一番下まで下げても無音にはなりません。

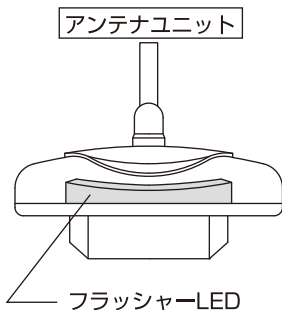


◆フラッシャー表示の変更設定

※SS-350の停止状態で設定をおこなってください。

●アンテナユニットの監視状態（作動中）のフラッシャーLED表示をを8種類から変更することができます。

- ・アップボタンとダウンボタンを同時に押しはなすとメインユニットから内部ブザーが1回なりLED表示が変更して表示します。くり返し続けると項目1▶2▶3・・・の順に変更します。項目8になるとメインユニットの内部ブザーが2回鳴ります。操作を続けると項目8の次は項目1になります。



項目	ブザー音	表示内容
1	ピッ	中央が2個点滅
2	ピッ	1個のLEDが移動しながら点滅
3	ピッ	2個のLEDが中央から移動点滅
4	ピッ	3個のLEDが左右に移動
5	ピッ	複数パターン1
6	ピッ	複数パターン2
7	ピッ	複数パターン3
8	ピィピィ	表示なし

注.メインユニットの取付ける場所によりブザー音が聞こえにくくなる場合があります。

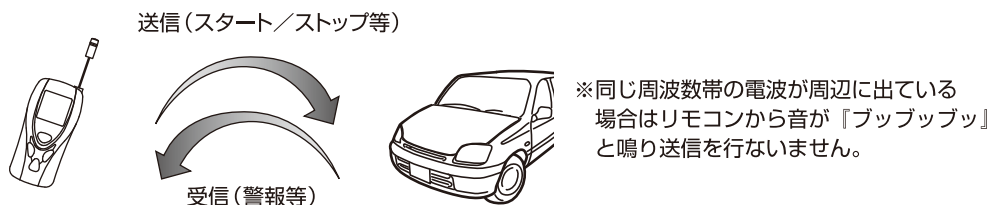
リモコンについて



- 本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
- 本リモコンは充電式です。出荷時は充電済みの状態ですが、自然放電する場合があります。ご使用前に必ず充電を行ってください。
- 本リモコンはアンサーバックタイプを採用し、お車の異常をリモコンでお知らせしますが、鞆や機の引出しの中や金属の上等に置くと電波を受信できなくなる場合があります。
- 当社エンジンスターター（Be Time）のリモコンと本リモコンを同時には使用しないでください。誤動作の原因となります。

◆アンサーバックについて

- 本製品は、リモコンとアンテナユニット間で互いに送受信を行い本機のスタート/ストップを始め、各センサーの反応があった時、リモコンへお知らせします。



◆リモコンご使用前に

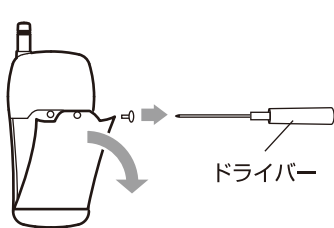
※リモコンを使用する前に必ずリモコンを充電（P21参照）してください。

- 商品出荷時は電池の消耗を防ぐ為、電池を外して、リモコン電源OFFの状態です。ご使用時はリモコンに電池を入れ電源ON状態（P23）でご使用ください。又、長期間使用しない場合（車を使わない旅行等）は、電池の消耗を防ぐ為、リモコンの電池を外す事をお勧めします。

○充電電池の入れ方

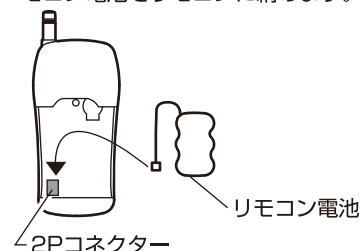
※リモコンに電池を入れた後、リモコンを使用する前にID登録（P30）を行なってください。

- ・ドライバーでリモコンの裏フタのビスを回し外し裏フタを上（ビス側）から外します。



ドライバー

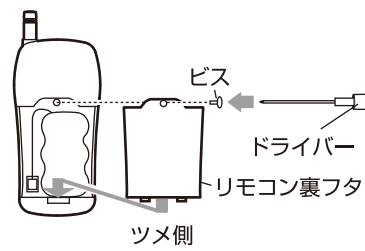
- ・リモコン充電電池の2Pコネクタをリモコンの2Pコネクタに差し込みリモコン電池をリモコンに納めます。



リモコン電池

注.2Pコネクタは極性がありますのでコネクタの凹凸に合せて差し込んで下さい。

- ・ツメ側から裏フタを入れてビスをドライバーで回し取付けて下さい。



ビス

ドライバー

リモコン裏フタ

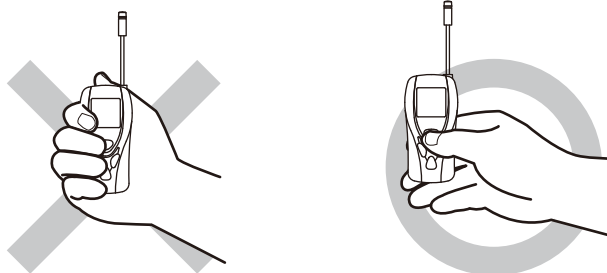
ツメ側

注.あまりビスを強くシメ過ぎるとケースが壊れますので注意してください。

※リモコン裏フタをしめる（閉じる）時はリモコン電池の配線を裏フタに挟まないように注意してください。

◆リモコン操作方法

- リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させる為に必ずアンテナをのばし、リモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。



リモコンについて

◆リモコンの充電方法

※充電中でもリモコン操作警報の受信はできません。

●充電について

- ・本製品はトリクル充電式です。満充電するのに電池残量が全くない状態から(めやす)約4時間かかります。
- ・満充電後、更に充電を続けても問題はありませんが、充電完了後はすみやかに充電器又は専用ACアダプターを外してください。
- ・満充電後、再度充電を行っても残り電池残量にかかわらず約4時間は充電を行いません。
- ・リモコンの電池は約3日間(無警報、連続監視状態)使用できます。
- ・使用頻度、リモコンの警報回数等により短くなる場合があります。
- ・リモコンを充電状態でも、アンサーバック機能は働いています。アンテナを伸ばした状態で、本体からの電波が受信可能な場所で充電を行ってください。また、充電器にセットした状態ですとリモコンと充電器から警報を鳴らします。

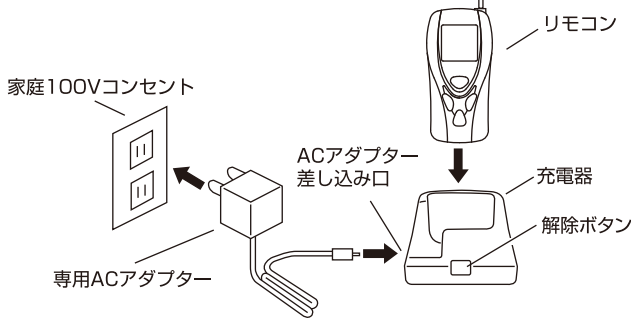
○充電の方法

※充電中セキュリティを作動させている時はアンテナを十分伸ばして充電してください。

◆充電器での充電

- ・リモコンを充電器にセットします。
- ・専用ACアダプターを充電器に接続し、コンセントへ差込みます。

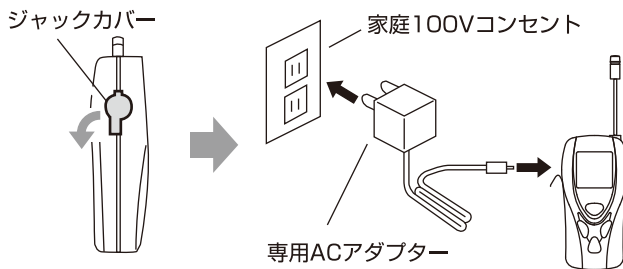
リモコン端子と充電器端子の位置をあわせ、下方向に軽く押しながらリモコン背面の凹を充電器のツメ部分にセットします。



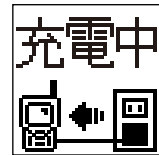
※充電器からリモコンを外す時は必ず解除ボタンを押しながらリモコンを上へ抜いて(持ち上げて)ください。

◆直接リモコンへの充電

- ・リモコンのジャックカバーを外し、ACアダプターをリモコンに差し込みます。
- ・専用ACアダプターをコンセントへ差込みます。



- ◆充電を開始するとリモコンから電子音が鳴り表示部に"充電中"と表示されます。



緑色にバックライトが点滅します




- ◆充電が終了すると表示部に"充電完了"と表示されます。



文字だけが表示されます

- ・充電を開始してもすぐに文字の表示がしない場合もありますが、異常ではありません。
- ・リモコンの表示は表示の設定(P26)によって英語表示にもなります。

注意 ・充電器には必ず本製品の専用ACアダプターをご使用ください。

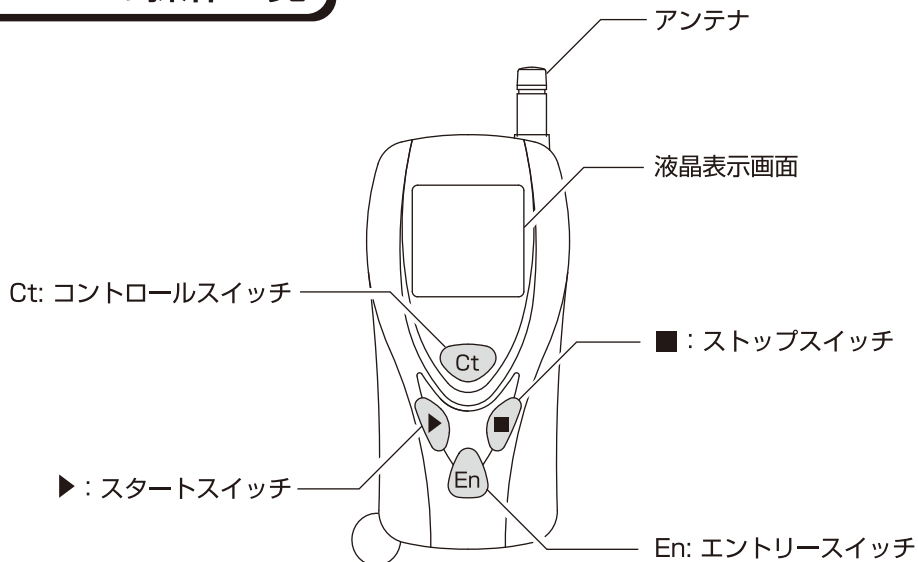
- ・セキュリティ作動中、リモコンの電池残量がなくなるとリモコンの電源がOFFになり警報を行いません。リモコンの充電を行ないリモコン電源を ONにしてセキュリティを再度スタートさせリモコンに  表示 (P23) をさせていただきます。
- ・充電は必ず家庭用電源 (AC100V) で行ってください。
- ・充電器を水気や、湿気の多い場所には設置しないでください。又、濡れた手で充電器、専用ACアダプターに触れないでください。
- ・充電器の端子に触れないでください。又、金属片やゴミ等が端子に触れない様にしてください。
- ・充電器に異常(発煙・発火・異臭等)が発生した場合、ただちに電源を抜き、使用を中止してください。
- ・リモコンにキーホルダー等を取付けている場合、充電器の端子に触れないようにしてください。
- ・充電中は充電器の音量の調整以外の時はリモコン操作をしないでください。
- ・充電を行っていない時は専用ACアダプターをコンセントから抜いてください。

●電池交換について

- ・リモコン電池は、ニッケル水素電池を使用しています。充電を行っても作動しない等の状態が頻繁におこるようであれば電池の寿命が考えられます。お近くの商品取扱いの販売店でお買い求め上、電池交換して下さい。また、交換した電池はリサイクル可能なニッケル水素電池ですので、販売店にお渡してください。ご不明な点がございましたら、弊社サービス部までご連絡ください。

リモコンについて

◆リモコンの操作一覧



◆リモコン操作一覧

操作内容		動作内容	詳細ページ
操作1	操作2		
En長押し		電源スイッチ ON/OFF	P23
En	▶	セキュリティスタート (ドアロック連動)	P24
En	■	セキュリティストップ (ドアアンロック連動)	P24
■	En	セキュリティストップ	P24
Ct	Ct	モードの設定	P25
▶長押し		リモコン音の設定	P25
■長押し		リモコン表示の設定	P26
Ct	En	パニックアラーム	P26
En	Ct	履歴表示	P26
Ct長押し		圏内/圏外表示	P27
▶	▶	ドアロック	P27
■	■	ドアアンロック	P27
Ct	▶	エンジンスタータースタート	P28
Ct	■	エンジンスターターストップ	P28
En	En	リモコンID登録 1	P30
▶	■	追加リモコンID登録 2	P30
■	▶	追加リモコンID登録 3	P30

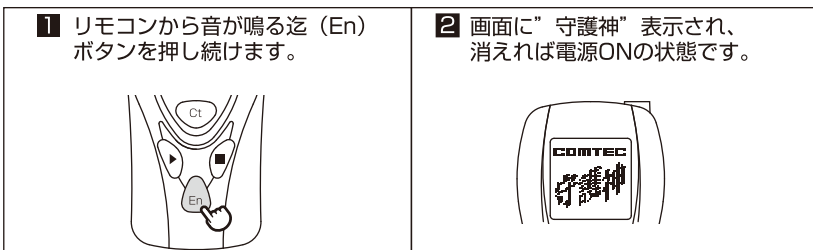
※操作1を押し液晶表示されている間に操作2をおこなってください。
操作1のボタンを押すとは始めに待ち受け画面 (P23) が表示されます。

リモコンについて

◆電源の入れ方

※使用しない時は電源をOFFにすると内蔵電池が長く使用できます。

●リモコンの操作は電源を入れてから行います。



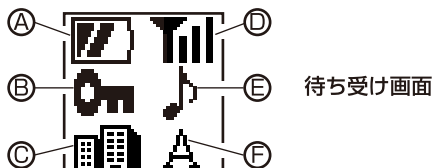
◇電源をOFFにするにはリモコンから音が鳴る迄 (En) ボタンを押し続けます。画面に”Bye”表示され、消えれば電源OFFの状態です。

※SS-350を使用しない時はリモコンの電源をOFFにしてください。又、長期リモコンを使用しない時はリモコンの電池を取りはずしてください。

- ・リモコン電源をOFFにするとリモコンの警報は鳴りません。
- ・リモコンの電池残量がなくなった場合、リモコンの電源は切れます。充電した後リモコンの電源を入れてください。





◆待ち受け画面の説明

●最初にボタンを押すと待ち受け画面が表示され現在のリモコンの設定が表示されます。




Ⓐ 電池残量表示

リモコンの電池残量を表示します。

 満充電です	 電池残量に問題は ありません	 早めに充電をし て下さい	 充電して下さい すぐにリモコン が作動しなくな ります。
--	--	--	--

注意！
電池残量表示は正確な物ではなく電池残量が
ばらつく場合がありますので目安としてお使
いください。

Ⓑ セキュリティ作動表示

現在セキュリティが作動しているか表示します。セキュリティが作動していると鍵のマーク  が点灯しセキュリティが停止していると鍵のマークは消灯します。

点灯  セキュリティ 作動中	消灯  セキュリティ 停止中
--	--

注意！

リモコンにカギのマークが点灯（待ち受け画面時）していないと、セキュリティが作動していても、リモコン警報は行ないません。追加リモコン又はBeTime リモコンでSS- 350を作動した場合も作動させたSS-350のリモコンしか警報は行ないません。リモコンから警報を鳴らしたい場合は必ず警報を鳴らしたいリモコンでSS- 350を再度作動させて下さい。

Ⓒ モード表示 (P25)

何のモードでセキュリティを作動（スタート）するかを表示します。

※現在作動しているモードではありません。

Ⓓ 圏内/圏外表示 (P27)

リモコン操作により車から電波の届く範囲にリモコンがあるかを表示します。

Ⓔ リモコン音表示 (P25)

現在のリモコンアンサーバック音の設定を表示します。

Ⓕ リモコン文字表示 (P26)

現在のリモコン文字表示言語の設定を表示します。

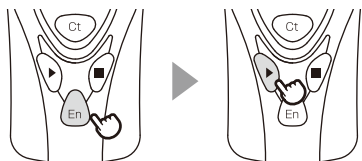
リモコンについて

◆守護神のスタート/ストップと連動ドアロック/アンロック

●付属のリモコンで守護神のスタート/ストップ（ドアロック/アンロック）を行ないます。
作動の確認を文字と音でお知らせします。

○守護神のスタート（ドアロック連動） ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください

1 リモコンの（En）ボタンを押し、待ち受け画面中に（▶）ボタンを押します。



2 電波が届いて守護神がスタート（作動中）になるとリモコン液晶表示が緑色で”OK!”と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で”NG!”と表示されます。



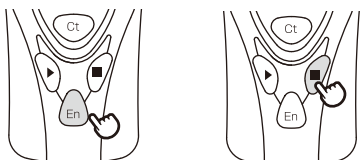
守護神が
作動した時



電波が届かなく
作動しなかった時

○守護神のストップ（ドアアンロック連動） ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください

1 リモコンの（En）ボタンを押し、待ち受け画面表示中に（■）ボタンを押します。



2 電波が届いて守護神がストップ（停止）になるとリモコン液晶表示が緑色で”OK!”と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で”NG!”と表示されます。



守護神が
停止した時



電波が届かなく
停止しなかった時

※守護神をスタートした時、キャンセルタイマー作動中にもう一度守護神スタートの操作をするとキャンセルタイマー機能が解除されすぐに守護神が作動します。

- ・リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。
- ・電波の状況によって守護神が作動してもリモコンに”OK!”と表示されないことがありますので、その時はもう一度リモコンでスタートさせてください。
- ・BeTimeのリモコンで守護神を作動させた場合はスタンダードモード（P25）で作動します。
- ・ドアロック配線がしてある場合はオートドアロック機能（P33）が作動します。
- ・アンテナユニットのLEDが全部点灯している時は本体のIDが消失しますのでID登録をして下さい（P30）
- ・警報を止めたい時に上記の操作で守護神をストップするとドアロック配線がしてある場合アンロック操作が連動で作動しますので注意してください。

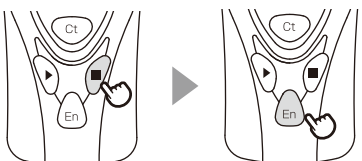
◆守護神のストップ

※ドアアンロックは連動で作動しません。

●警報中や守護神のみの作動を止めたい時に操作を行ないます。

○守護神のストップ ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください

1 リモコンの（■）ボタンを押し、液晶表示中に（En）ボタンを押します。



2 電波が届いて守護神がストップ（停止）になるとリモコン液晶表示が緑色で”OK!”と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で”NG!”と表示されます。



守護神が
停止した時



電波が届かなく
停止しなかった時

※リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。

リモコンについて

◆モードの設定

※BeTimeリモコンで守護神をスタートするとスタンダードモードになります。

●車を止めた環境によってセンサーのON/OFFや警報音の調整がリモコンの設定で簡単にできます。

○モード内容

モードの種類	待ち受け画面	車を止めた状況	作動するセンサー	スピーカー警報
スタンダードモード		通常使用の時に	全てのセンサーON	検出したセンサーの警報を鳴らします
サイレントモード		昼間、静かな住宅街に止めた時など	全てのセンサーON	警報しません
シティモード		車の交通量が多く振動など受けやすい時など	カーテシセンサー 電圧センサーのみON	検出したセンサーの警報を鳴らします
ナイトモード		夜、警報音を下げたい時など	全てのセンサーON	作動中、全てのスピーカー音量を設定の約半分で鳴らします。

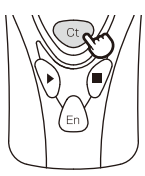
※リモコンの警報は作動しているセンサーが反応した場合、全て警報を行いません。

スタート/ストップ音の設定 (P18) で日本語又は英語設定にした場合、音声でモード設定の内容が他の人に確認されてしまう為、注意して下さい。


- ・車輛ホーン警告音 (P17) は鳴るように設定してもサイレントモード、ナイトモードでスタートした場合は警報は行ないません。
- ・スピーカー音量を最小にした場合ナイトモードでスタートしてもスピーカー音量は変わりません

○モード設定操作方法

1 リモコンの (Ct) ボタンを押し、液晶表示中にもう一度 (Ct) ボタンを押しします。



2 操作**1**をくり返すと表示が変わり、設定したいモードで操作を止めます。守護神をスタートした時、設定したモードで作動します。



順番に表示が変わります

- ▶ スタンダードモード
- ▼ サイレントモード
- ▼ シティモード
- ▼ ナイトモード

※一度設定すると待ち受け表示が設定したイラスト (モード内容欄) に変わり設定を変更しない限りモード設定は変わりません。

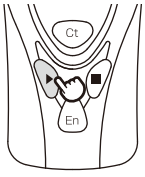
※モード設定でセンサーのON/OFFを使いわけても、アンテナユニットのセンサーの設定 (P19) が優先になります。

- ・モードを設定してスタートしても、追加リモコンなどで違うモードで再度スタートした場合、再度スタートしたモードが優先になります。
- ・リモコン音の設定で操作音は違います。

◆リモコン音の設定

●リモコンの操作音を無音、アラーム、メロディに変更することができます。

1 リモコンの (▶) ボタンを音がするまで長押しします。



2 操作**1**をくり返すと表示が変わり (音も変わります) 設定したい項目で操作を止めます。

◇順番に表示が変わります

設定	リモコン音	待ち受け画面表示
無音	ピッ	OFF
アラーム音	ピッピッ	
メロディ音	ドレミレド	

※画面表示は設定により日本語、英語になります。

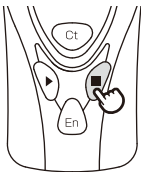
※リモコン操作音は変わりません。

リモコンについて

◆リモコン表示の設定

●リモコンの表示を日本語、英語に変更することができます。

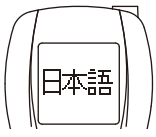
1 リモコンの (■) ボタンを待ち受け画面から表示が変わるまで長押しします。



2 操作**1**をくり返すと表示が変わり (音も変わります) 設定したい項目で操作を止めます。

◇順番に表示が変わります

設定	リモコン音	待ち受け画面表示
日本語表示	ピッ	あ
English Screen (英語表示)	ピッピッ	A



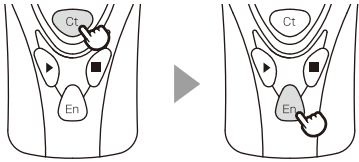
※リモコン音の設定で操作音は違います。

◆パニックアラーム機能

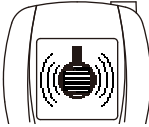

※パニックアラーム警報中は全てのセンサーは作動しません。

●車内で危険を感じて周囲に知らせたい時、車に不審者が近付いた時などに電子音を30秒鳴らすことができます。

1 リモコンの (Ct) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (En) ボタンを押します。



2 電波が届いてパニックアラームが作動するとリモコン液晶表示が緑色でイラスト表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で”NG!”と表示されます。

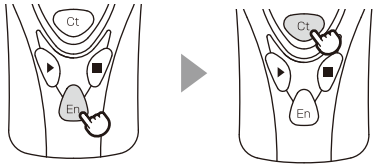
※パニックアラーム警報を止めたい時は、リモコンで守護神ストップ操作 (P24) を行なって下さい。

※リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。又、画面表示は設定により日本語、英語になります。
 ・エンジン始動中、イグニッションキーがACC又はONの位置にある時はパニックアラーム機能は作動しません。
 ・警報中にパニックアラームを作動させると鳴っている警報はキャンセルされ、パニックアラームが鳴ります。
 ・パニックアラーム作動中はアンテナユニットのLEDとフラッシュライトが点滅します。

◆履歴表示

●リモコンに警報があった時、何の警報だったかリモコンで確認ができます。

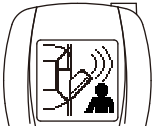
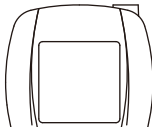
1 リモコンの (En) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に (Ct) ボタンを押します。



2 リモコンに何の警報があったか一つの履歴を表示します。

例：カーテシセンサー検出時 (配線時)

- 履歴があった場合
- 履歴がなかった場合

・イラストを表示し文字を表示します

・何も表示はしません

※リモコンで守護神をスタートすると履歴がリセットされます。

※警報が続けてあった場合は新しい警報の履歴が表示され一つ前の履歴は消失します。
 ・リモコン音の設定で操作音は違います。
 ・画面表示は設定により日本語、英語になります。

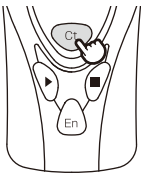
リモコンについて

◆圏内/圏外表示

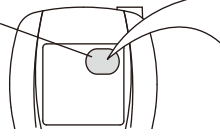
※電波状況やリモコンの状態（アンテナや電池残量など）によって同じ場所でも始めは電波が届いても届かなくなる可能性があります

- リモコン操作で車のアンテナとリモコンの電波が届く範囲にあるか確認できます。


1 リモコンの (Ct) ボタンを待ち受け画面表示内の圏内/圏外表示がする迄長く押します。




圏内/圏外部
※通常時は圏内/圏外表示はしません



待ち受け画面表示

○圏内の場合
 車のアンテナとリモコンの電波が届く範囲の場合左のイラストが表示されます。

○圏外の場合
 車のアンテナとリモコンの電波が届かない場合、左のイラストが表示されます

※初めは電波が届いたが電波状況や環境によって突然電波が届かなくなることがあります。

- ・リモコン音の設定でアンサーバック圏内/圏外音は違います。
- ・リモコン操作してから電波で確認している為すぐには圏内/圏外表示はされません。

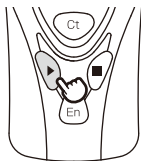
◆ドアロック/アンロック

※セキュリティと連動してドアロック機能を作動させる場合は P24の（守護神のスタート/ストップ）を参照してください。


- 立体駐車場などセキュリティを作動させたくない場合SS-350のリモコンでドアロック/ドアアンロックのみすることができます。（ドアロック配線時 P10参照）

○ドアロック ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください


1 リモコンの (▶) ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度 (▶) ボタンを押します。



2 電波が届いてドアロックするとリモコン液晶表示が緑色で "OK!" と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で "NG!" と表示されます。



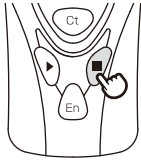
ドアロックした時




電波が届かなくドアロックしなかった時

○ドアアンロック ※リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作してください


1 リモコンの (■) ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度 (■) ボタンを押します。



2 電波が届いてドアアンロックするとリモコン液晶表示が緑色で "OK!" と表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で "NG!" と表示されます。



ドアアンロックした時



電波が届かなくドアアンロックしなかった時

※SS-350でドアアンロック動作を行なった場合（ドアロック配線時）約30秒後にオートドアロック機能が動き自動的にドアロックを行ないます。（P33）

- ・セキュリティ作動中にドアロック/アンロックのみのリモコン操作はできません。
- ・リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います。

リモコンについて

◆エンジンスターターのスタート/ストップ

※BeTimeエンジンスターター対応機種(A-73/75)のみ操作可能。

●BeTimeエンジンスターター(対応機種)にSS-350のリモコンを登録することによりSS-350のリモコンでエンジンスターター/ストップが可能になります。

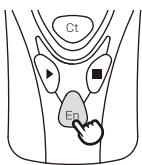
※BeTimeに追加できる守護神のリモコンは1個だけです。

○はじめにBeTimeにSS-350のIDを登録します。

※エンジンスターター機能を使用する前に必ず下記操作を行なって下さい。

① BeTime取扱説明書を参照にリモコンのID登録又は追加登録の状態にします。

② リモコンの(En) ボタンを押し、待ち受け画面表示中にもう一度(En) ボタンを押しBeTimeにSS-350のリモコンを登録します。



③ 電波がBeTimeに届いてID登録が完了するとリモコン液晶表示が緑色で"OK!"表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で"NG!"と表示されます。



BeTimeにIDの登録が完了しました。



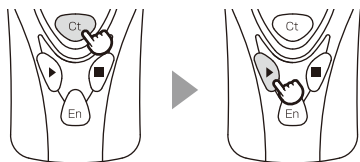
電波が届かなくID登録ができなかった時

※BeTimeにSS-350のリモコンを登録をした後、再度SS-350メインユニットにID登録が必要になります。P30の●IDコード登録方法③で『2つ目(追加リモコン)』の操作でID登録を行なってください。

※リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います又、画面表示文字は設定により日本語、英語になります。

○SS-350リモコンのBeTimeエンジンスター

① リモコンの(Ct) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に(▶) ボタンを押します。



② 電波がBeTimeに届いてエンジンスター動作するとリモコン液晶表示が緑色で"OK!"表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で"NG!"と表示されます。



エンジンスターターが作動を始めます。



電波が届かなく作動しなかった時

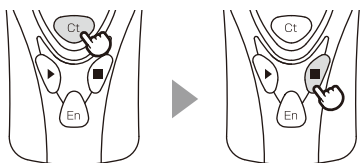
※BeTimeの機種によってエンジンが始動すると"OK!"表示の後、数秒後に"エンジン始動(又は英語表示)"と表示されます。

※リモコンに"OK!"表示がされたのにエンジンが始動してなかった時はBeTime取扱説明書を参照してBeTimeの配線を確認して下さい。

- ・エンジン始動後、SS-350のリモコンでエンジンスター動作を再度すると"エンジン始動"と表示されエンジン始動の確認ができます。
- ・守護神のリモコンでエンジン始動した時、操作してから約15秒間は守護神のリモコンを操作してもBeTimeと電波で送受信している為、リモコン操作によるアンサーバックが正しく返信されない場合があります。

○SS-350リモコンのBeTimeエンジンストップ

① リモコンの(Ct) ボタンを押し、待ち受け画面表示中に(■) ボタンを押します。



② 電波がBeTimeに届いてエンジンストップ動作するとリモコン液晶表示が緑色で"OK!"表示されます。電波が届かなかった場合は液晶表示が赤色で"NG!"と表示されます。



エンジンが停止します。



電波が届かなく作動しなかった時

※上記操作はBeTimeのアンテナユニットで電波の送受信を行なう為、BeTimeのアンテナユニットの取付位置により電波の届く範囲はSS-350のスタート/ストップなどの動作範囲と異なります。

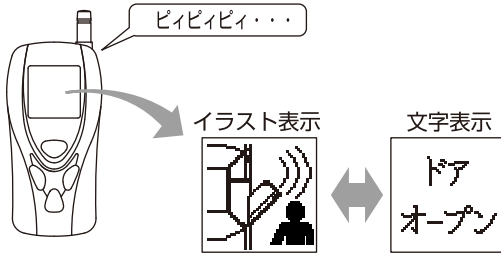
・リモコン音の設定で操作音アンサーバック音は違います又、画面表示文字は設定により日本語、英語になります。

警報について

◆リモコンの警報

- SS-350作動中（監視中）車のセンサーが信号を検出するとアンサーバックによりリモコンで音と文字、イラストでお知らせします。

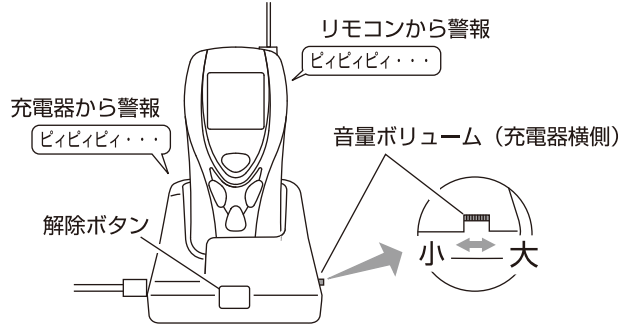
図2.
例：カーテシセンサーを検出した時（配線時）



- ・イラスト表示と文字表示（日本語又は英語）で交互に10秒間点滅しリモコンから警告音が10秒間鳴り続けます。

○充電器で充電中のリモコン警報

- ・SS-350のリモコンを充電器で充電中に警報があった時、（図2）の動作を行ない、同時に充電器からも警報音が鳴ります。



- ・リモコンのボタンを押し充電器から音が鳴っている時に音量ボリュームで調整します。解除ボタン側に回すと音量が小さくなり反対側に回すと音量が大きくなります。
※音量ボリュームの音量を小さくしてもリモコンの警報は小さくなりません。

※リモコン警報音、充電器警報音、警報時間はリモコン音の設定（P25）によって変わります。（アラーム音設定時約10秒、メロディ設定時約7秒）

- ・警報中に充電器からリモコンを外すと充電器の警報は止まります。
- ・リモコン音の設定（P25）を無音にすると充電器からの警報音は鳴りません。
- ・充電器にACアダプターを接続しないでリモコンを充電器に置いて警報はリモコンのみで充電器からは警報は鳴りません。
- ・充電器の音量を設定する前にリモコン音の設定（P25）を無音以外に設定してから行って下さい。
- ・リモコンのアンテナを伸ばすことにより電波の飛びが変化しますのでセキュリティ作動中はできるだけアンテナを伸ばした状態にしてください。

◆警報の種類と優先

●検出センサーの種類

- ・『振動センサー』
車に振動（衝撃）が加わったのを検出し警報します。
- ・『電圧センサー』
車のドアが開きルームランプが点灯しバッテリー電圧が一瞬下がるのを検出し警報します。
- ・『オプションセンサー』 ※オプション必要
ジャッキアップセンサーなどオプションセンサーで検出し警報します。
- ・『カーテシセンサー』 ※配線必要
車のドアスイッチなどに配線してドアが開いたのを検出し警報します。

●警報の種類によって重要な警報を優先してならします。

優先順位の低いセンサー

※右にいくほど優先順位の高いセンサー

優先順位の高いセンサー

・振動センサー（弱い振動）

・振動センサー（強い振動）

・電圧センサー ・カーテシセンサー

※優先順位の低いセンサー（振動センサーなど）警報中に優先順位の高いセンサー（カーテシセンサーなど）が異常を検出した場合優先順位の低い警報を止めて優先順位の高いセンサーの警報を鳴らします。ただし電圧センサーは他のセンサー警報中は作動せず警報は行ないません。

- ・オプションは各オプションにより優先順位は違います。

リモコンの登録について

◆リモコンのID登録（追加リモコンの登録）

●IDコードとは

リモコンはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりメインユニットの「IDコード」と一致しなければ、本製品を始動させる事ができないようになっております。

●本製品は付属のリモコンとは別に2個のリモコンが追加できます。（全部で3個までのリモコンが使用できるようになります。）

IDコードの再登録・追加登録をする場合、必ずアクセサリ検出線（水色）の配線が必要になります。（P9）

※配線をしていないとIDの再登録・追加登録はできません。

ターボタイマーを使用しているとイグニッションキー操作ができないので必ずターボタイマーをOFFにしてからイグニッションキー操作をしてください。

●IDコードの登録方法（本製品停止状態から操作してください）

- 1** イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を7回行います。（10秒以内で行なってください）
※アクセサリ検出線をイグニッションに配線した場合ACCの位置まで回す作業はイグニッション（ON）の位置まで回すこととなります。
- 2** メインユニットから”ピーピーピー・・・”とブザーが鳴ります。
- 3** ブザーが鳴っている間に登録するリモコンのスイッチを押しIDを送信します。
 - ・1つ目（付属リモコン）を登録する時は（En）ボタンを押します。待ち受け画面表示中にもう一度（En）ボタンを押します。IDが登録されると”ピッ”とメインユニットからブザーが1回鳴ります。
 - ・2つ目（追加リモコン）を登録する時は（▶）ボタンを押します。待ち受け画面表示中に（■）ボタンを押します。IDが登録されると”ピッ ピッ”とメインユニットからブザーが2回鳴ります。
 - ・3つ目（追加リモコン）を登録する時は（■）ボタンを押します。待ち受け画面表示中に（▶）ボタンを押します。IDが登録されると”ピッ ピッ ピッ”とメインユニットからブザーが3回鳴ります。※BeTimeに付属のSS-350リモコンを登録をした場合は、SS-350のメインユニットに付属リモコンを再度2つ目、3つ目（追加リモコン）の操作で登録してください。
- 4** 上記のようにブザーが鳴れば完了です。
 - ・続けてリモコンを追加する場合は、ID登録完了後、少し時間（2～3分）おいてから **1** から操作を行います。

※IDコードの登録作業は10秒以内で行ってください。10秒以上かかるとID登録モードが解除されます。

（再度IDコードを登録する時は始めからIDコードの登録方法をしてください。）

- ・ IDコードは何度でも書き換えができます。（同じ操作で新しいIDコードを書き込むと、前回登録したIDコードは消去されます。）
- ・ 車輛のバッテリー交換や本製品の電源を外したり、車輛ノイズなどによりリモコンのIDコードが消失する場合があります。その時はIDの再登録をしてください。

センサーの設定/調整

◆振動センサーの調整

●車輻への衝撃を検出し、警報を行う為の振動センサーの感度を設定します。

◇ボリュームの調整は強い振動用と弱い振動用の調整が必要になります。

振動センサー調整はセンサー設定 (P19) でB-5振動センサーをONにして、モード設定 (P25) はスタンダードモードで行なってください。

○まず弱い振動から調整します。

1 振動センサーVOLを中間の位置にあわせませす。

2 車輻エンジンを切り、全てのドアを閉じます。

※駐車状態にします。

3 本製品をリモコンでスタートします。(P24)

4 キャンセルタイマー作動時(設定時のみ)、アンテナユニットLEDが全点滅します。

※スタート後、キャンセルタイマー作動時(設定時)は警報を行いません。

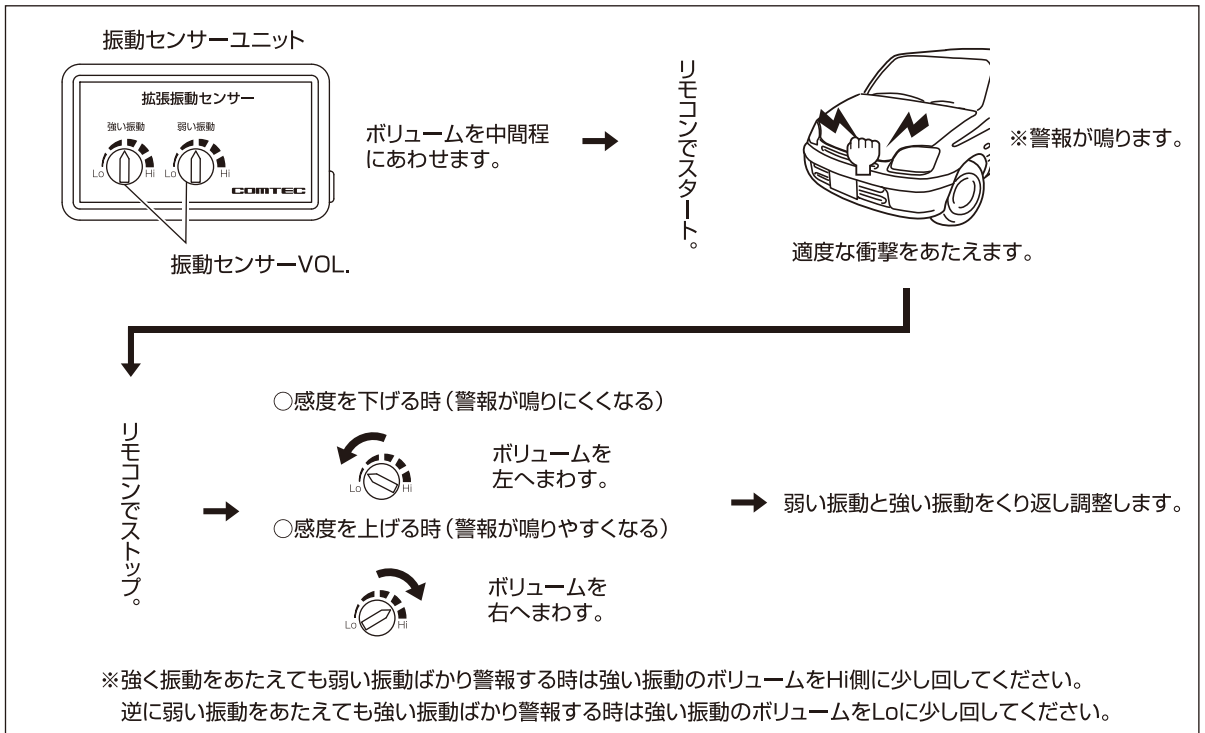
5 アンテナユニットのLEDが全点滅から表示が変わった後、車外から車輻に軽く振動をあたえます。

6 適度な振動で、警報が行われる様に振動センサーVOL.を調整します。

※感度が弱い場合は振動センサーVOL.を右へ、強い場合は左へ少しずつまわして調整を行ってください。

必ずリモコンで本製品をストップ (P24) してから、振動センサーVOL.の調整を行ってください。

7 弱い振動の調整ができたなら同じように強い振動を調整します。



※車輻のボディサイズ・車体のボディの構造・取付け位置・振動を与える場所などによって振動センサーの感度は大きく影響します。また感度を高めに設定した場合、雷、花火、改造車のマフラー音、大型車輻などの走行時の強い揺れ等を振動センサーが反応してしまう場合がありますのでご注意ください。

・振動をあたえて警報が鳴った後すぐに振動をあたえても約2秒間はセンサーは反応しません。

・センサーの調整で車輻に振動をあたえるのにボディのへこみ等に注意して下さい。

・調整ボリュームは回し過ぎたり、力を入れて強くまわしたりするとボリューム又はユニットが破損する恐れがありますので注意してください。

・センサーの調整を行なう時は警報が鳴りますのでまわりの環境にあわせ警報音量を調整してください。

センサーの調整

◆電圧センサーの調整

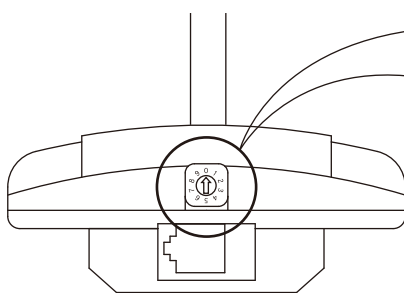
※カーテシ配線をした場合電圧センサーを使用しないでください。
誤動作の原因になります。

●車輦への電圧変化を検出する為の電圧センサー感度を設定します。必ず付属のドライバーを使用して調整を行ってください。

◇調整をする前に

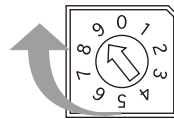
必ずドアを開けたらルームランプがつくように車輦側を設定します。

- 1 アンテナユニット部電圧センサーVOLを付属のドライバーで「5」の位置にあわせませう。
- 2 センサーの設定で振動センサーをOFFにします。(P19参照)
- 3 ファンクションスイッチの設定を有効にする為、SS-350を一度リモコンでスタートして、ストップして下さい。
- 4 車輦エンジンを切り、全てのドアを閉じます。
※駐車状態にします。
- 5 本製品をリモコンでスタートします。(P24参照)
※スタンダードモードでスタートしてください。
- 6 キャンセルタイマー作動間(設定時のみ)、アンテナユニットLEDが全点滅します。
※スタート後、キャンセルタイマー作動の間(設定時)は警報を行いません。
- 7 アンテナユニットのLEDが全点滅から表示が変わった後、車外から車輦のドアを開けます。
※ワイヤレスドアロック機能を使用せず車輦のカギで直接開けてください。
- 8 警報が鳴るように電圧センサーVOLを調整します。
- 9 振動センサーを使用する場合は振動センサーをONにします。(P19参照)
- 10 警報が鳴らない場合は電圧センサーVOLを「6」の方へ回して調整してください。調整ボリュームの数字が大きい程反応しやすくなります。
※設定終了後、振動センサーをONにします。

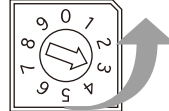


アンテナユニット背面図

○電圧センサーVOL



電圧センサーを敏感(鳴りやすい)にしたい場合、右へ回し数字を大きくします。



電圧センサーを鈍感(鳴りにくく)にしたい場合、左へ回し数字を小さくします。

※調整しても電圧センサーが作動しない時はカーテシ配線が必要になります。

- ・使用中に勝手に電圧変化が作動するなど、電圧センサーが安定作動しない時は、電圧VOLを「0」に近い数字に一段階づつ調整してください。それでも安定作動しない時はカーテシ配線をしてください。
- ・カーテシ配線を行った場合は、メインユニットのスイッチ設定が必要になります。(P12参照)

その他の機能

◆オートドアロック機能

※守護神SS-350でドアロック配線をした時のみ下記操作が有効になります。

- 守護神SS-350でドアロック配線し、SS-350のリモコン又はBeTimeのリモコンで知らないうちに誤ってドアアンロック動作した時、自動的に30秒後にドアロックをします。

⚠注意 自動でドアがロックしますのでカギのインロックに注意して下さい。

○オートドアロック機能の一時解除

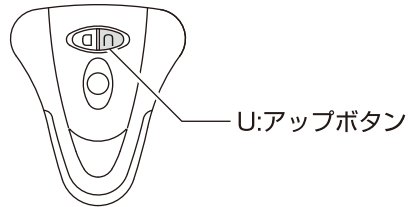
次の操作によりオートドアロックが一時解除されます。

- ・守護神又はBeTimeのリモコンでアンロック動作をして30秒以内に車のドアを開けた時
※カーテシ配線 (P12) がされているドアのみ有効です。
- ・守護神又はBeTimeのリモコンでアンロック動作をして30秒以内にイグニッションキーをアクセサリ (ACC) 又はイグニッション (IG) にカギを回した時
※アクセサリ検出線 (P9) の配線がアクセサリ (ACC) 又はイグニッション (IG) によってカギを回す位置が変わります。又エンジンスターターを作動させても解除されます。

○オートドアロックの永久解除

次の操作によりオートドアロック機能が永久に解除されます。

- ・アンテナユニットのアップボタン (U) ボタンを3秒以上押し、スピーカーから” 停止 ” とお知らせします。オートドアロック機能を使用したい時はもう一度同じ操作をすることによりスピーカーから” 始動 ” とお知らせします。



注. アンテナユニットの電源が切れると、オートドアロック機能の設定がリセットされる場合がありますのでその時はもう一度設定をやり直して下さい。
オートドアロックが作動してもセキュリティは作動せず、ドアロック音も鳴りません。

◆省電力モード機能

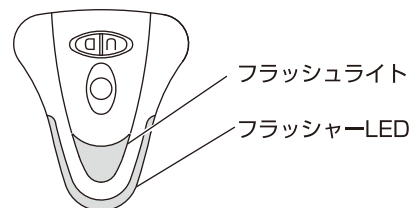
- SS-350が8日以上連続で作動し、その間、警報等が一度も発生しない時、バッテリー保護の為にアンテナユニットの表示が点滅に変わります。(各センサーは作動しています)

※リモコンでスタート/振動・電圧変化の検出等を行なうと省電力モードは解除され設定 (P19) の表示に変わります。
・表示設定 (P19) で表示なしの場合は、省電力モードが作動しても表示なしのままです。

◆フラッシャー/フラッシュライトの威嚇機能

- SS-350作動中 (監視中) センサーが異常を検出した時、アンテナユニットのフラッシャーLEDがスピーカー/ホーン警報中全点滅します。フラッシュライトは1秒おきに点滅します。

※スピーカー/ホーン警報設定 (P16・17) がOFFの場合、又はサイレントモードの時は上記の点滅ではなく1回だけフラッシャーとフラッシュライトが点滅します。



アンテナユニット

その他の機能

◆通信確認機能

- SS-350のアンテナユニットとリモコンの電波の送受信、アンテナユニットとメインユニットの通信の状態をアンテナユニットのLEDで確認することができます。



※上記表示がされる時はアンテナ接続ケーブルを確認して下さい。

◆守護神の強制スタート/ストップ

- リモコンを破損・紛失した場合などリモコンで本製品をストップ・スタートできない場合に車輛イグニッションキー操作により本製品をストップ・スタートできます。



リモコンの破損・紛失した場合などリモコンが操作できない時にだけ操作を行ってください。誤動作の原因になります。

- ◆必ずアクセサリ検出線（水色）の配線が必要になります。配線をしていないとイグニッションキー操作による守護神のスタート/ストップはできません。（P9）

- ◆ターボタイマーを使用しているとイグニッションキー操作ができませんので必ずターボタイマーをOFFにしてからイグニッションキー操作をしてください。

- 守護神のスタート（本製品が停止している状態から操作を行います）

- 1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を『6回』行います。（10秒以内に行ってください）
※アクセサリ検出線をイグニッションに配線した場合ACCの位置まで回す作業はイグニッション（ON）の位置まで回す操作になります。
- 2 上記操作終了後、約10秒後にタイマーキャンセルが作動し本製品が始動します。
※タイマーキャンセル設定がOFFでも20秒は作動します。
※何度操作しても始動しない場合は、アクセサリ検出線の配線位置が違うか本体メインユニットの異常が考えられます。

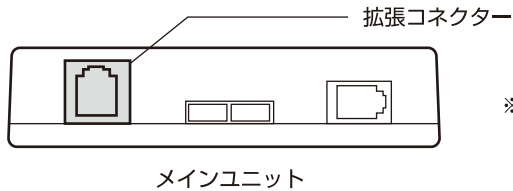
注.SS-350を強制スタート（監視状態）にした時はリモコンでセキュリティをスタート操作し、リモコン待ち受け画面にセキュリティ作動状態表示（**On**）をしない限りリモコンでの警報は行ないません。

- 守護神のストップ（本製品が作動している状態から操作を行います）

- 1 イグニッションキーをOFFの位置からACCの位置まで回し、OFFの位置まで戻します。
この動作を『5回』行います。（10秒以内に行ってください）
※アクセサリ検出線をイグニッションに配線した場合ACCの位置まで回す作業はイグニッション（ON）の位置まで回す操作になります。
- 2 上記操作終了後、本製品が停止します。
※上記操作により本製品が停止後連動してアンロック動作を行います。
※何度操作しても停止しない場合は、アクセサリ検出線の配線位置が違うか本体メインユニットの異常が考えられます。

拡張コネクターについて

- メインユニットにある拡張コネクターは将来、今までにない新しいオプションの取付が可能になるコネクターです。オプションについては随時発売していく予定です。



※拡張コネクターを使用しない時は車輛の配線等カプラーに入らないように注意してください。

付属のステッカーについて

- 付属のステッカーを貼る時は、運転者の視界を妨げるような場所、自動車の前面ガラス及び運転者席、助手席のサイドガラスに貼らないでください。運転者席より後方サイドガラスなど、運転者の視界を妨げない場所に付属のステッカーを貼ってください。



付属ステッカー

本製品の修理について

- 本製品の破損・点検・故障した場合、購入した販売店又はお近くの販売店へ修理の依頼・ご相談をしてください。
- 修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し(代替品)などのサービスは行っておりません。
- 修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車輛盗難、車上狙い、車輛へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。

◆リモコンを破損・紛失した場合

- リモコンを破損した場合は、販売店へ修理のご依頼・ご相談をしてください。又、修理不能(水に濡らしたなど)もしくは紛失された場合は新たにリモコンのみをご購入頂き再度ID登録を行うことで、ご使用できます。
- ※リモコンご購入時の注意：防犯上、安全の為に保証書の提示等をお願いする事があります。

故障かな？と思ったら

●本製品を使用中、正常に作動しない場合、点検・修理をご依頼される前に、下記表を参照してご確認ください。

症 状	確 認	対 策	ページ
リモコンでスタート /ストップしない	・正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	8~13
	・常時電源線のヒューズが切れていませんか？	・常時電源線のヒューズを交換してください。	13
	・リモコンの電池が切れていませんか？	・充電を行なってください。	21
アンテナユニット LEDが 点灯しない	・4Pコネクタが確実に接続されていますか？	・4Pコネクタの接続を確認してください。	13
	・アンテナユニットLED表示設定がOFFになっていませんか？	・アンテナユニットLED表示設定を確認してください。	19
警報が 出力しない (スピーカー)	・スピーカーユニットが正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	8
	・スピーカー警告設定がOFFになっていませんか？	・スピーカー警告設定を確認してください。	16
警報が出力しない (電圧変化検出時) カーテシ配線無し時	・電圧センサーは正しく設定されていますか？	・電圧センサーの設定がONになっているか確認してください。 ・電圧センサーVOL.の設定の確認をしてください。	19・32
	・ルームランプはドアオープンと連動して点灯していますか？	・ルームランプをドアオープンと連動させてください。 ※一部車種で、ドアオープン時の電圧変化が作動しない場合があります。その場合、付属のカーテシ配線を行ってください。又、車種により、別売のカーテシ配線2（複数線）「SS-059」が必要になる場合があります。	32
警報が出力しない (カーテシ配線時)	・カーテシ配線は正しく配線されていますか？	・カーテシ配線を確認してください。	12
	・カーテシセンサーの設定は正しく設定されていますか？	・カーテシセンサースイッチの設定を確認してください。	12・19
	・各ドアのカーテシが独立している車種ではありませんか？	・別売のカーテシ配線（複数線）「SS-059」を使用してください。	7・12
警報が出力しない (衝撃検出時)	・振動センサーは正しく設定されていますか？	・振動センサーの設定がONになっているか確認してください。 ・振動センサーVOL.の設定を確認してください。 ・振動センサーユニットの取付け位置を確認してください。	19・31
警報が出力しない (全ての警報)	・アクセサリ検出線・BeTime信号線は正しく配線されていますか？	・アクセサリ検出配線の確認をしてください。 ・振動センサーユニットのコネクタを確認してください。 ・センサー設定の確認をしてください。	9・19
衝撃がない状態で 警報が出力される	・振動センサーは正しく設定されていますか？（Hiになっていませんか）	・振動センサーVOL.の設定を確認してください。 ・振動センサーユニットの取付け位置を確認してください。	14・31
	・駐停車時に電圧変化の発生する装備が車輦に取付けられていませんか？	・カーテシ配線を行ってください。	12
ドアロック・ アンロックしない (配線時)	・ドアロック配線は正しく配線されていますか？	・車種別専用ハーネス適合表で取付け可能な車種か確認してください。	
	・取付配線する車にオプションは必要ないですか？	・ドアロック配線する車種によっては、オプションBe-965が必要になる場合がありますので車種別専用ハーネス適合表で確認をしてください。	

SS-350 仕様

- リモコン
技術基準 RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数 429.2MHZ
送信出力 10mW
電波形式 F1D
呼出名称 送信時に自動送出
周波数安定度 $\pm 4\text{ppm}$ 以内(25°C)
周波数偏位 $\pm 2.5\text{KHZ}$ 以内
送信時間 3秒以内
送信休止時間 2秒以上
受信周波数 429.2MHZ
受信感度 -116dBm 以下で安定動作
局発安定度 $\pm 4\text{ppm}$ 以内(25°C)
送受信アンテナ トップロードアンテナ
定格電圧 DC3.6V
動作温度範囲 $-20^\circ\text{C}\sim+60^\circ\text{C}$
使用電池 ニッケル水素電池
ケース寸法 22.0 (W) × 79.0 (H) × 38.3 (D) /mm
- メインユニット
定格電圧 12VDC
動作温度範囲 $-25^\circ\text{C}\sim+75^\circ\text{C}$
ケース寸法 72.0 (W) × 24.0 (H) × 105.0 (D) /mm
- アンテナユニット
技術基準 RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数 429.2MHZ
送信出力 10mW
電波形式 F1D
呼出名称 送信時に自動送出
周波数安定度 $\pm 4\text{ppm}$ 以内(25°C)
周波数偏位 $\pm 2.5\text{KHZ}$ 以内
送信時間 10.8秒以内
送信休止時間 2秒以上
受信周波数 429.2MHZ
受信感度 -118dBm 以下で安定動作
送受信アンテナ $1/4\lambda$ ホイップアンテナ
動作温度範囲 $-25^\circ\text{C}\sim+75^\circ\text{C}$
定格電圧 DC12V
ケース寸法 45.0 (W) × 26.5 (H) × 75.0 (D) /mm
- スピーカー
動作温度範囲 $-25^\circ\text{C}\sim+75^\circ\text{C}$
ケース寸法 96.0 (ϕ) × 40.0 (D) /mm

さくいん

あ

Be-965 (ワイヤレスドアロックアダプター)	10
Be-968 (アンサーフラッシュリレー)	7・18
SS-056 (ジャッキアップセンサー)	7
SS-057 (ホーンリレー)	7・17
SS-059 (カーテシセンサー2)	7・12
アクセサリ検出配線	9
アンサーバックについて	20
アンテナユニットファンクションスイッチの設定一覧	15
エレクトロタップの使用方法	6
エンジンスタート/ストップ	28
オートドアロック	33

か

カーテシ配線・スイッチ	12・19
キャンセルタイマーの変更	17
警報の時のハザード設定	18
圏内/圏外表示	27
故障かな	36

さ

修理	35
使用上の注意	2
省電力モード機能	33
振動センサー設定	19
振動センサー調整 (ボリューム)	31
スタート/ストップ (リモコン)	24
スタート/ストップ音	18
スタート/ストップ時のハザード設定	18
スピーカー警報音の長さ	17
スピーカー音 (鳴り方)	16
スピーカー音量の調整	19

た

電圧センサー設定	19
電圧センサー調整 (ボリューム)	32
ドアアンロック/ドアロック	27
盗難保険	37
特長	3
止め方 (強制)	34
取付け接続の注意	6

は

配線全体図	7
パニックアラーム	26
ホーン設定	17
フラッシャーの表示変更	19
フラッシュライト	33

ま

待ち受け画面の表示内容	23
モード設定	25
名称	4・5

ら

リモコンの操作一覧	22
リモコンの警報	29
リモコンの充電方法	21
リモコンの追加	30
リモコンの破損・紛失	35
履歴機能	26